

調査②要支援・要介護認定者調査結果（速報版）

①調査の目的

要支援・要介護認定者のサービス利用状況や利用意向を把握することで、サービス水準の設定やサービス提供体制のあり方について検討する。

主な介護者の介護状況や意向を把握することで、介護者支援策の充実について検討する。

②調査対象

- ・認定を受けている65歳以上の市民で居宅サービス利用者：1,800人
- ・認定を受けている65歳以上の市民で施設サービス利用者：800人
- ・認定を受けている65歳以上の市民でサービス未利用者：600人

※令和元年10月1日現在の住民基本台帳尾及び要支援・要介護認定者から無作為抽出

③調査方法

- ・郵送配布・郵送回収（督促礼状1回送付）

④調査時期

- ・令和元年10月11日～10月28日

⑤回収率

区分	発送・配布数	回収数（率）		有効回収数（率）	
居宅サービス利用者	1,800	1,236	(68.7%)	1,223	(67.9%)
施設サービス利用者	800	396	(49.5%)	361	(45.1%)
サービス未利用者	600	427	(71.2%)	418	(69.7%)
合計	3,200	2,059	(64.3%)	2,002	(62.6%)

⑥調査項目

項目	設問No.	設問
A 基本属性		
	F1	性別
	F2	年齢
	F3	世帯の状況
	F4	居住地域
B 住まい		
	問 1	住まい（一戸建て、集合住宅など）
	問 1-1	住まいや住環境で困っていること
C 医療		
	問 2	現在治療中の病気の有無
	問 3	かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の有無
	問 4	現在受けている医療処置
	問 5	訪問診療の有無
D 介護保険		
	問 6	要介護度
	問 7	最初に要介護認定を受けた時期
	問 8	要介護認定を受けたきっかけ
	問 9	介護保険サービス利用の有無
	問 9-1	介護保険サービスを利用していない理由
	問 9-2 (1)	介護保険サービスの利用状況／施設・居住系サービス
	問 9-2 (2)	介護保険サービスの利用状況／自宅で生活をしながら利用するサービス
	問 9-3 (1)	介護保険サービスの総合的な満足度
	問 9-3 (2)	総合的な満足度の基準
	問 10	今後生活したいところ
	問 11	施設入所の検討状況
	問 11-1	その理由
E 利用者本位のサービスのあり方		
	問 12	現在のケアプランの満足度
	問 12-1	ケアプランの不満の内容
	問 13	ケアマネジャーの評価
F 権利擁護		
	問 14	高齢者の権利や生活を守るための制度や相談窓口の認知度

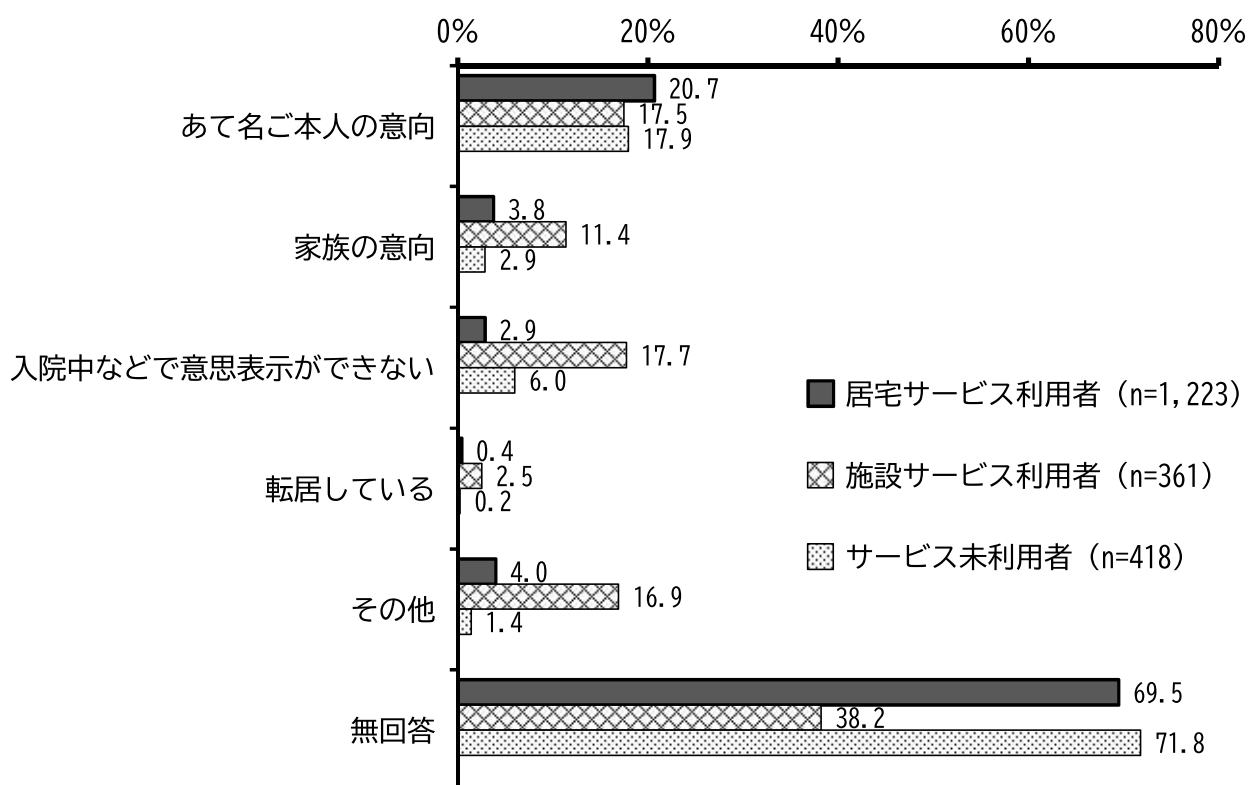
G 高齢者保健福祉サービス	
問 15	高齢者保健福祉サービスに対する利用意向
問 16	民間サービスの利用状況
H 認知症	
問 17	認知症について知っていること
問 18	認知症になっても住み慣れた地域で生活するために必要なこと
I 地域生活と日ごろの活動	
問 19	主観的幸福度
問 20	隣近所の人とのつきあいの程度
問 21	日常生活が不自由になったとき地域の人たちにしてほしい手助け
問 22	生きがいの有無
問 23	これから参加したい活動
J 災害時の対応	
問 24	災害時に手助けをしてくれる人
問 25	災害時に手助けをしてもらいたいこと
K 在宅療養	
問 26	自宅で療養を続けたいと思うか
問 25-1	療養は可能だと思うか
問 25-2	そう思わない、難しいと思う理由
L 意見・要望	
問 27	市の介護保険制度や高齢者保健福祉サービスについての意見・要望
M 主な介護者の状況や意向	
問 28	主な介護者
問 29	主な介護者の年齢
問 30	主な介護者の居住地
問 31	介護している期間
問 32	1日に介護している平均時間
問 33	被介護者が生活するのによいところ
問 34	介護をしていくうえでの問題点
問 35	介護をしていて良かったと思うこと
問 36	介護者支援として必要と思うもの
問 37	市への要望（自由回答）

⑦ 調査結果の概要

(1) 回答者について

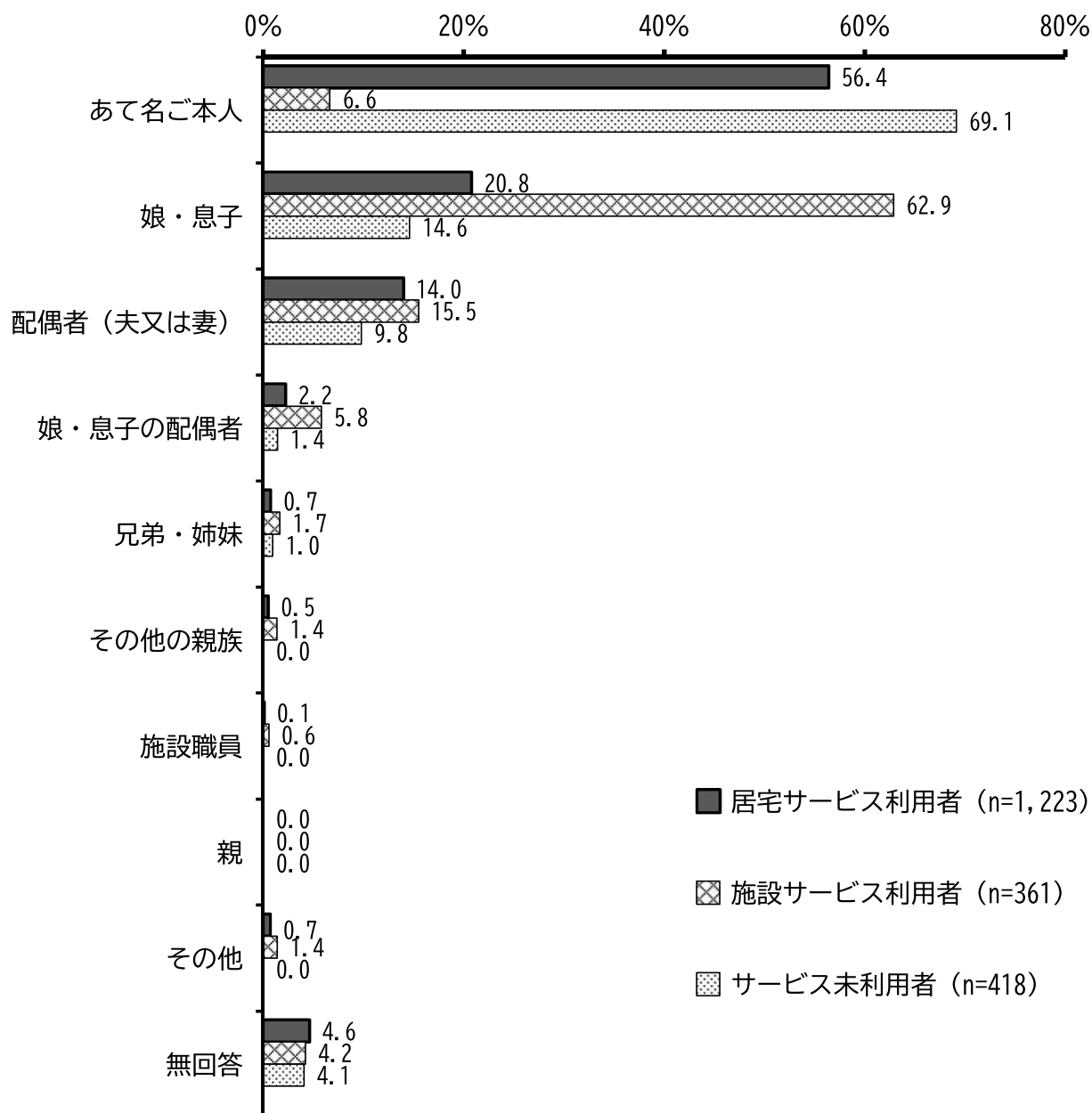
◎ あて名ご本人やご家族が何らかの事情により回答できない場合は、その理由にあてはまる番号に○をつけて、ご返送ください。

- ・ 居宅サービス利用者では、「あて名ご本人の意向」(20.7%)が最も多く、次いで「家族の意向」(3.8%)、「入院中などで意思表示ができない」(2.9%)となっている。
- ・ 施設サービス利用者では、「入院中などで意思表示ができない」(17.7%)が最も多く、次いで「あて名ご本人の意向」(17.5%)、「家族の意向」(11.4%)となっている。
- ・ サービス未利用者では、「あて名ご本人の意向」(17.9%)が最も多く、次いで「入院中などで意思表示ができない」(6.0%)、「家族の意向」(2.9%)となっている。



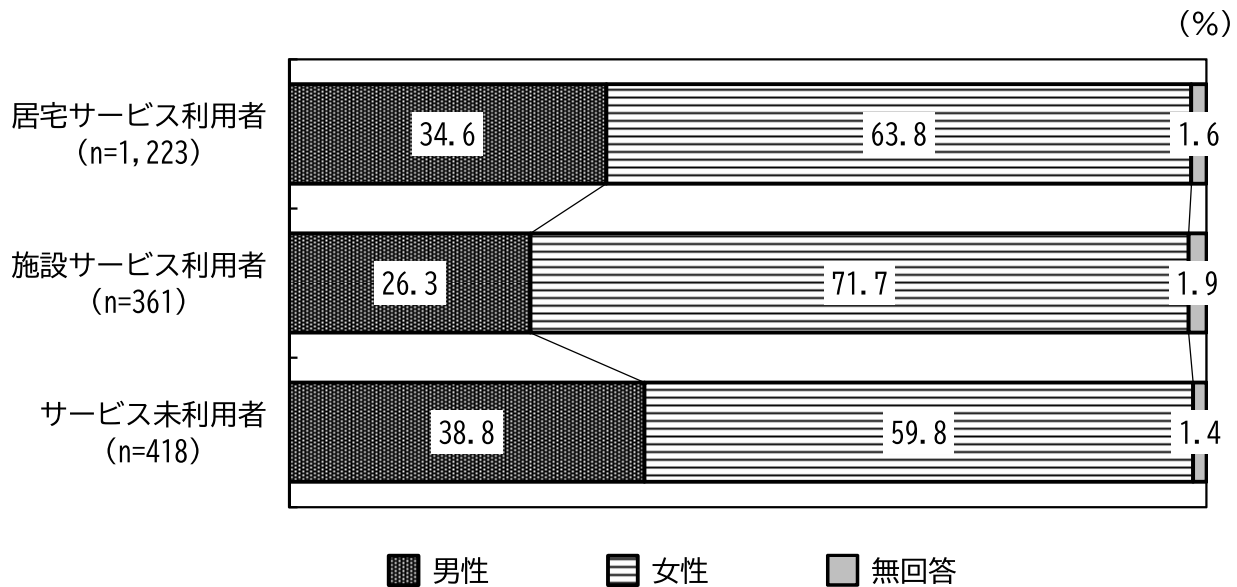
◎ この調査票はどなたがご記入されますか。（1つに○）

- ・居宅サービス利用者では、「あて名ご本人」(56.4%)が最も多く、次いで「娘・息子」(20.8%)、「配偶者（夫又は妻）」(14.0%)、「娘・息子の配偶者」(2.2%)と続いている。
- ・施設サービス利用者では、「娘・息子」(62.9%)が最も多く、次いで「配偶者（夫又は妻）」(15.5%)、「あて名ご本人」(6.6%)、「娘・息子の配偶者」(5.8%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「あて名ご本人」(69.1%)が最も多く、次いで「娘・息子」(14.6%)、「配偶者（夫又は妻）」(9.8%)、「娘・息子の配偶者」(1.4%)と続いている。



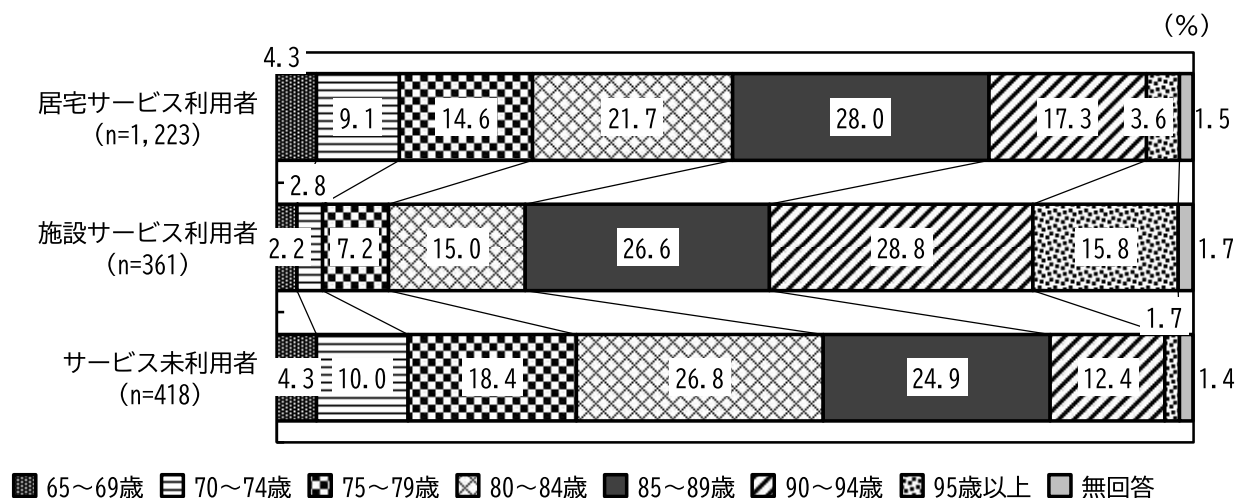
F 1 あなたの性別をお答えください。（1つに○）

- ・ 居宅サービス利用者では、「男性」が34.6%、「女性」が63.8%となっている。
- ・ 施設サービス利用者では、「男性」が26.3%、「女性」が71.7%となっている。
- ・ サービス未利用者では、「男性」が38.8%、「女性」が59.8%となっている。



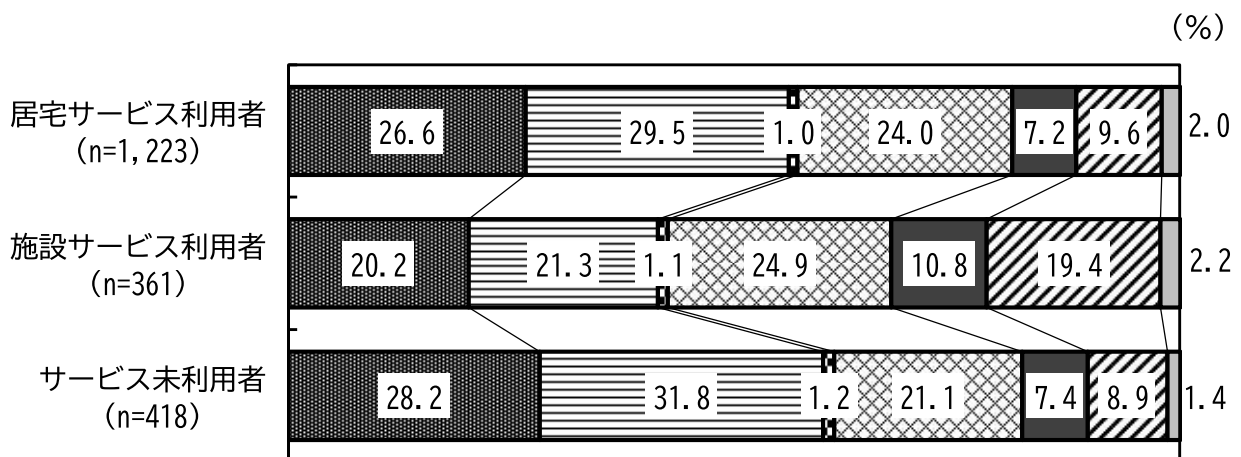
F 2 あなたの年齢をお答えください。（令和元年10月1日現在）（1つに○）

- ・ 居宅サービス利用者では、「85～89歳」(28.0%)が最も多く、次いで「80～84歳」(21.7%)、「90～94歳」(17.3%)、「75～79歳」(14.6%)、「70～74歳」(9.1%)と続いている。
- ・ 施設サービス利用者では、「90～94歳」(28.8%)が最も多く、次いで「85～89歳」(26.6%)、「95歳以上」(15.8%)、「80～84歳」(15.0%)と続いている。
- ・ サービス未利用者では、「80～84歳」(26.8%)が最も多く、次いで「85～89歳」(24.9%)、「75～79歳」(18.4%)、「90～94歳」(12.4%)と続いている。



F3 あなたは、現在どなたと一緒に住んでいますか。なお、施設等に入所(居)されている方は、入所(居)する前の状況をお答えください。(1つに○)

- ・ 居宅サービス利用者では、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(29.5%)が最も多く、次いで「1人暮らし」(26.6%)、「子のみと同居(配偶者及び子のみと同居している場合を含む)」(24.0%)と続いている。
- ・ 施設サービス利用者では、「子のみと同居(配偶者及び子のみと同居している場合を含む)」(24.9%)が最も多く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(21.3%)、「1人暮らし」(20.2%)と続いている。
- ・ サービス未利用者では、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」(31.8%)が最も多く、次いで「1人暮らし」(28.2%)、「子のみと同居(配偶者及び子のみと同居している場合を含む)」(21.1%)と続いている。

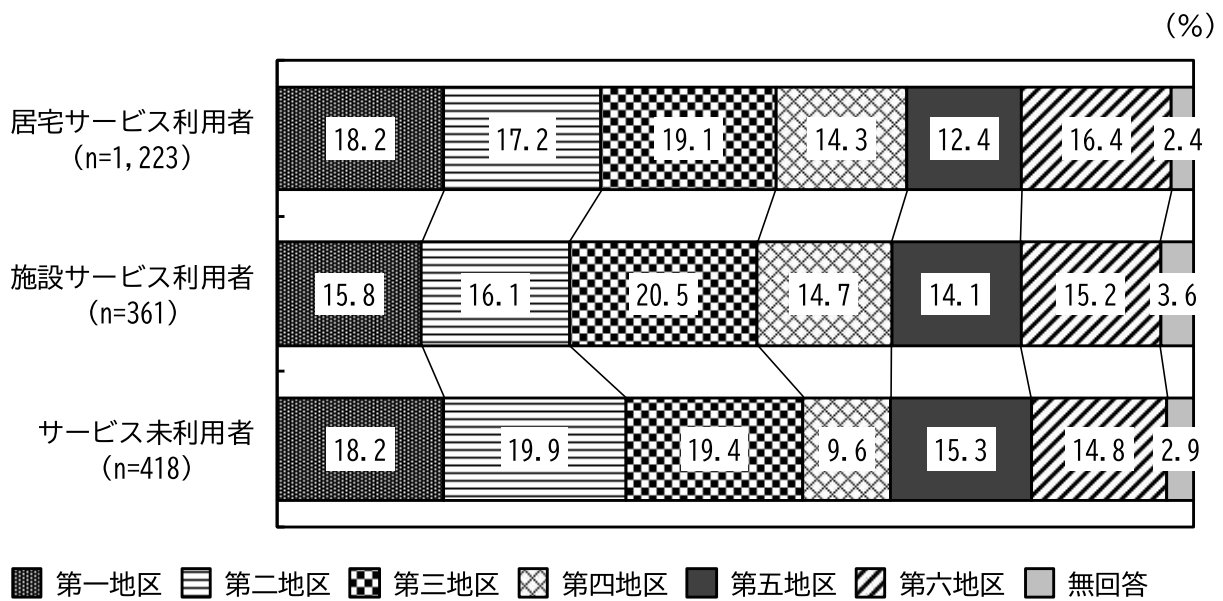


- 1人暮らし
- ▨ 夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)
- ▩ 夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)
- ▧ 子のみと同居(配偶者及び子のみと同居している場合を含む)
- 配偶者及び子以外の親族と同居(配偶者や子と同居している場合を含む)
- ▨ その他
- 無回答

F 4 あなたがお住まいの町名及び丁目を教えてください。(1つに○)

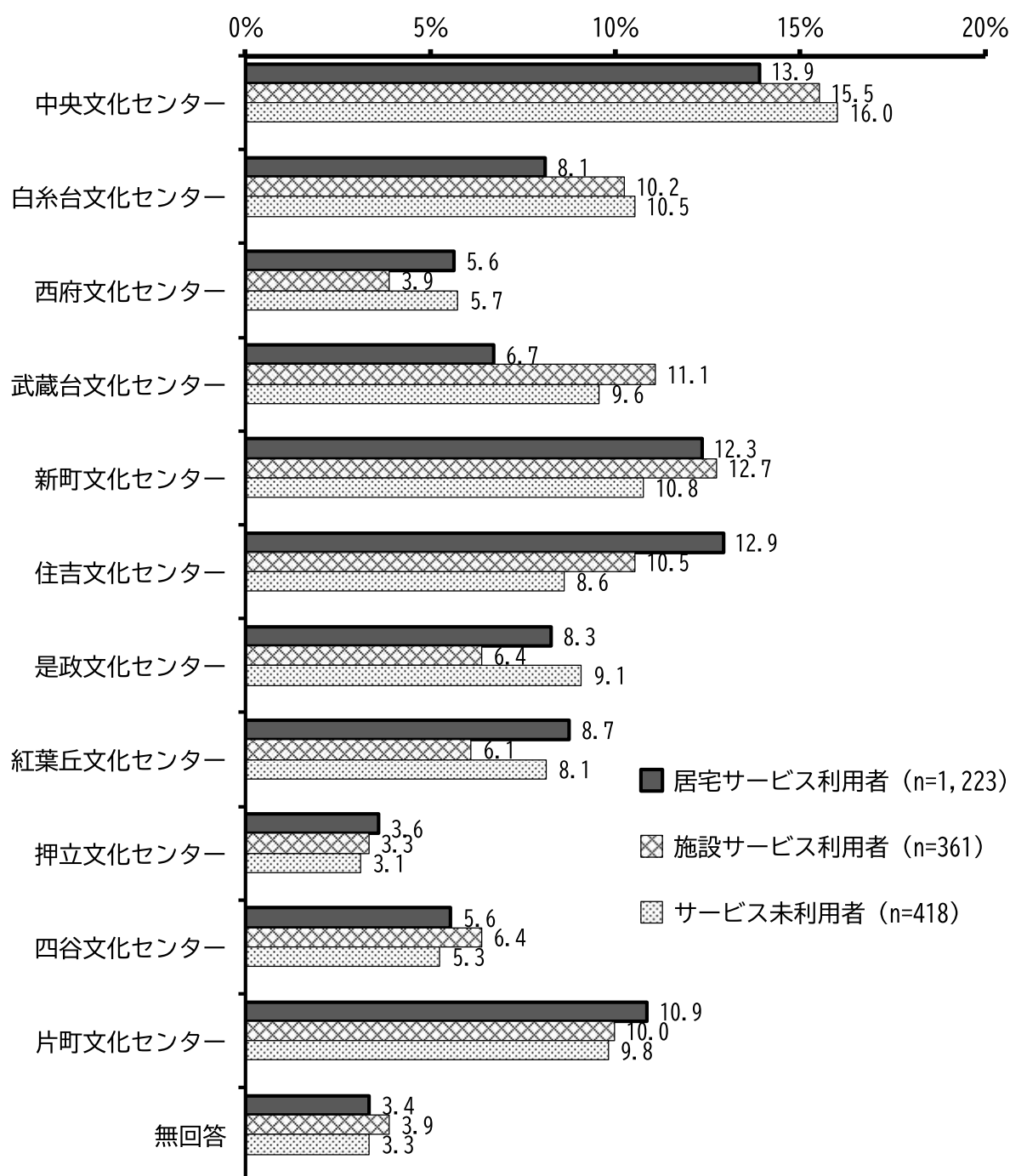
○日常生活圏域（6区分）

- ・ 居宅サービス利用者では、「第三地区」(19.1%)が最も多く、次いで「第一地区」(18.2%)、「第二地区」(17.2%)、「第六地区」(16.4%)、「第四地区」(14.3%)と続いている。
- ・ 施設サービス利用者では、「第三地区」(20.5%)が最も多く、次いで「第二地区」(16.1%)、「第一地区」(15.8%)、「第六地区」(15.2%)、「第四地区」(14.7%)と続いている。
- ・ サービス未利用者では、「第二地区」(19.9%)が最も多く、次いで「第三地区」(19.4%)、「第一地区」(18.2%)、「第五地区」(15.3%)、「第六地区」(14.8%)と続いている。



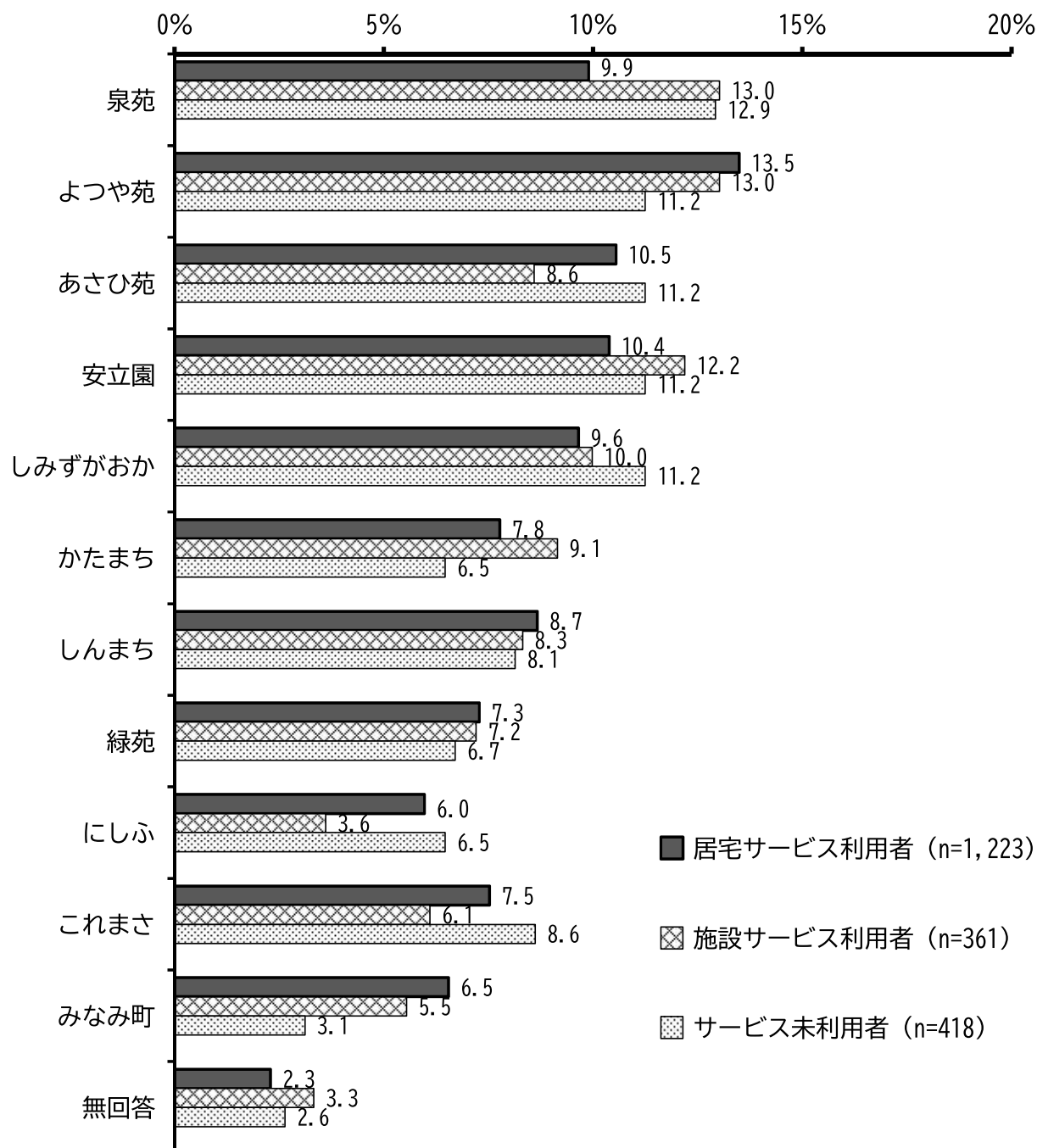
○文化センター圏域（11区分）

- ・居宅サービス利用者では、「中央文化センター」(13.9%)が最も多く、次いで「住吉文化センター」(12.9%)、「新町文化センター」(12.3%)、「片町文化センター」(10.9%)、「紅葉丘文化センター」(8.7%)と続いている。
- ・施設サービス利用者では、「中央文化センター」(15.5%)が最も多く、次いで「新町文化センター」(12.7%)、「武蔵台文化センター」(11.1%)、「住吉文化センター」(10.5%)、「白糸台文化センター」(10.2%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「中央文化センター」(16.0%)が最も多く、次いで「新町文化センター」(10.8%)、「白糸台文化センター」(10.5%)、「片町文化センター」(9.8%)、「武蔵台文化センター」(9.6%)と続いている。



○地域包括支援センター圏域（11区分）

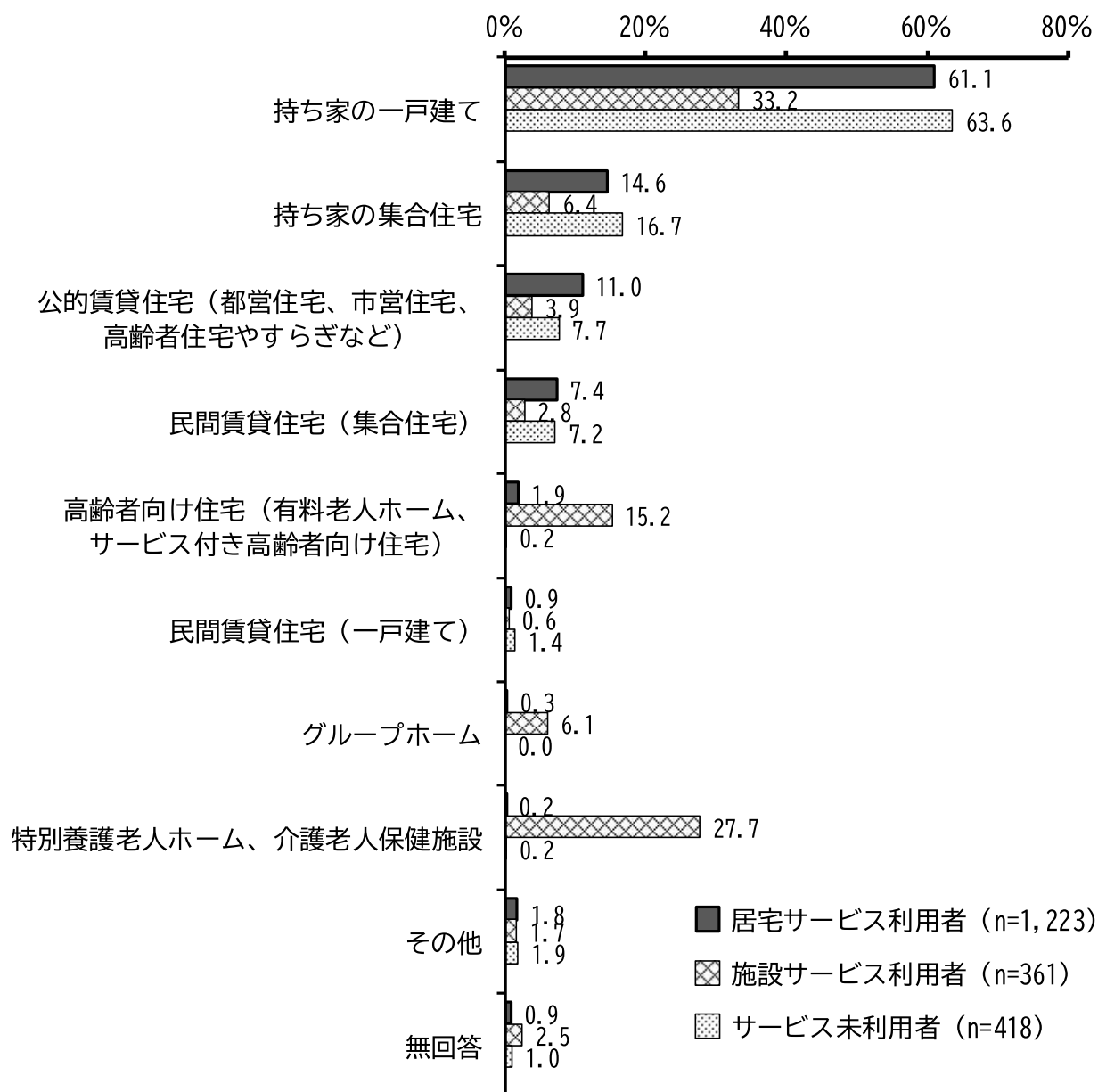
- ・居宅サービス利用者では、「よつや苑」（13.5%）が最も多く、次いで「あさひ苑」（10.5%）、「安立園」（10.4%）、「泉苑」（9.9%）、「しみずがおか」（9.6%）と続いている。
- ・施設サービス利用者では、「泉苑」と「よつや苑」（ともに13.0%）が最も多く、次いで「安立園」（12.2%）、「しみずがおか」（10.0%）、「かたまち」（9.1%）と続いている。
- ・サービス未利用者では、「泉苑」（12.9%）が最も多く、次いで「よつや苑」（11.2%）、「あさひ苑」（11.2%）、「安立園」「しみずがおか」（ともに11.2%）と続いている。



(2) 住まいについて

問1 あなたのお住まいは次のうちどれですか。(1つに○)

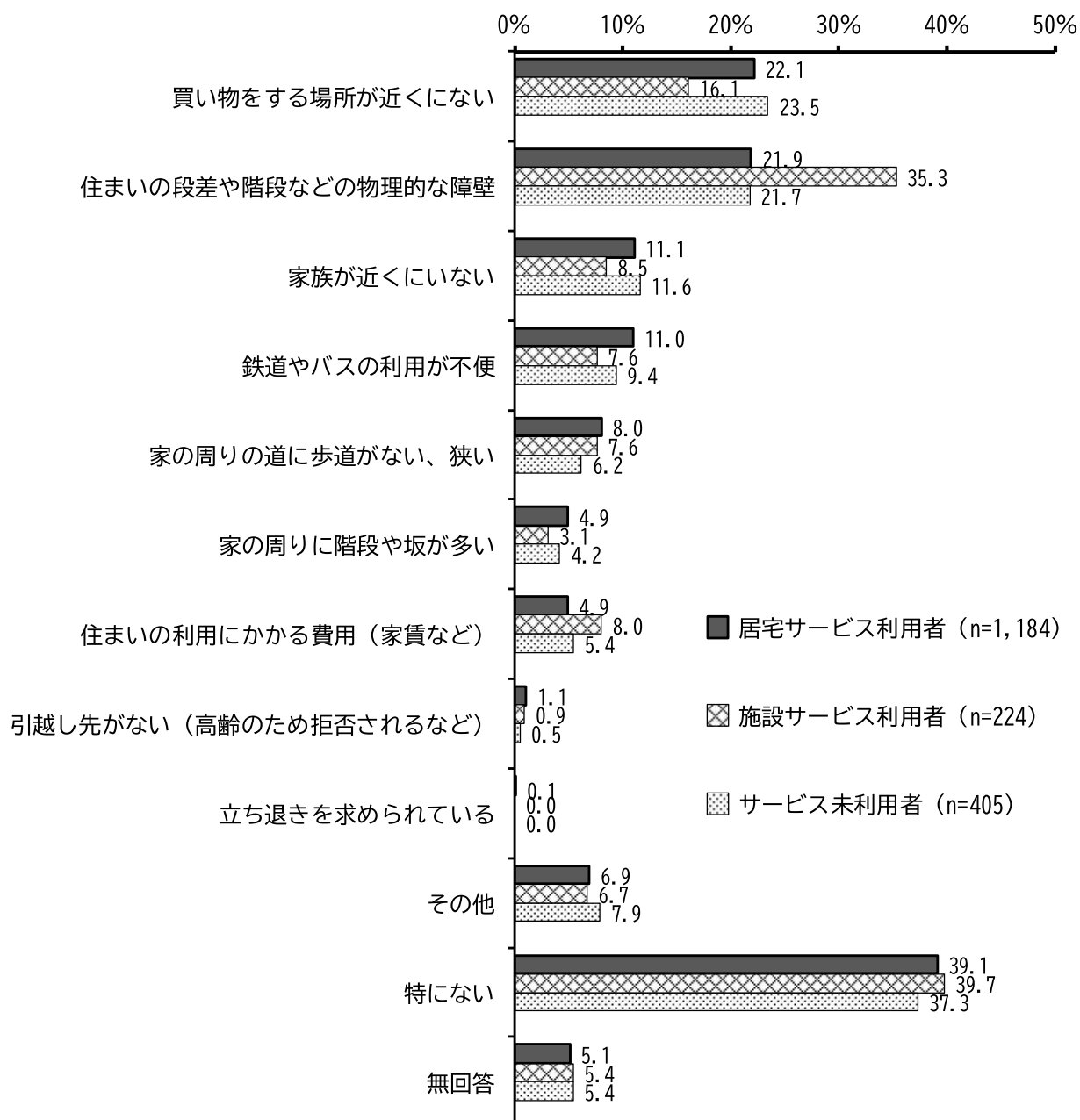
- ・居宅サービス利用者では、「持ち家の一戸建て」(61.1%)が最も多く、次いで「持ち家の集合住宅」(14.6%)、「公的賃貸住宅（都営住宅、市営住宅、高齢者住宅やすらぎなど）」(11.0%)、「民間賃貸住宅（集合住宅）」(7.4%)と続いている。
- ・施設サービス利用者では、「持ち家の一戸建て」(33.2%)が最も多く、次いで「特別養護老人ホーム、介護老人保健施設」(27.7%)、「高齢者向け住宅（有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅）」(15.2%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「持ち家の一戸建て」(63.6%)が最も多く、次いで「持ち家の集合住宅」(16.7%)、「公的賃貸住宅（都営住宅、市営住宅、高齢者住宅やすらぎなど）」(7.7%)、「民間賃貸住宅（集合住宅）」(7.2%)と続いている。



「問1で「1」～「6」とお答えの方におたずねします」

問1-1 現在のお住まいや住環境などで困っていることはありますか。(いくつでも○)

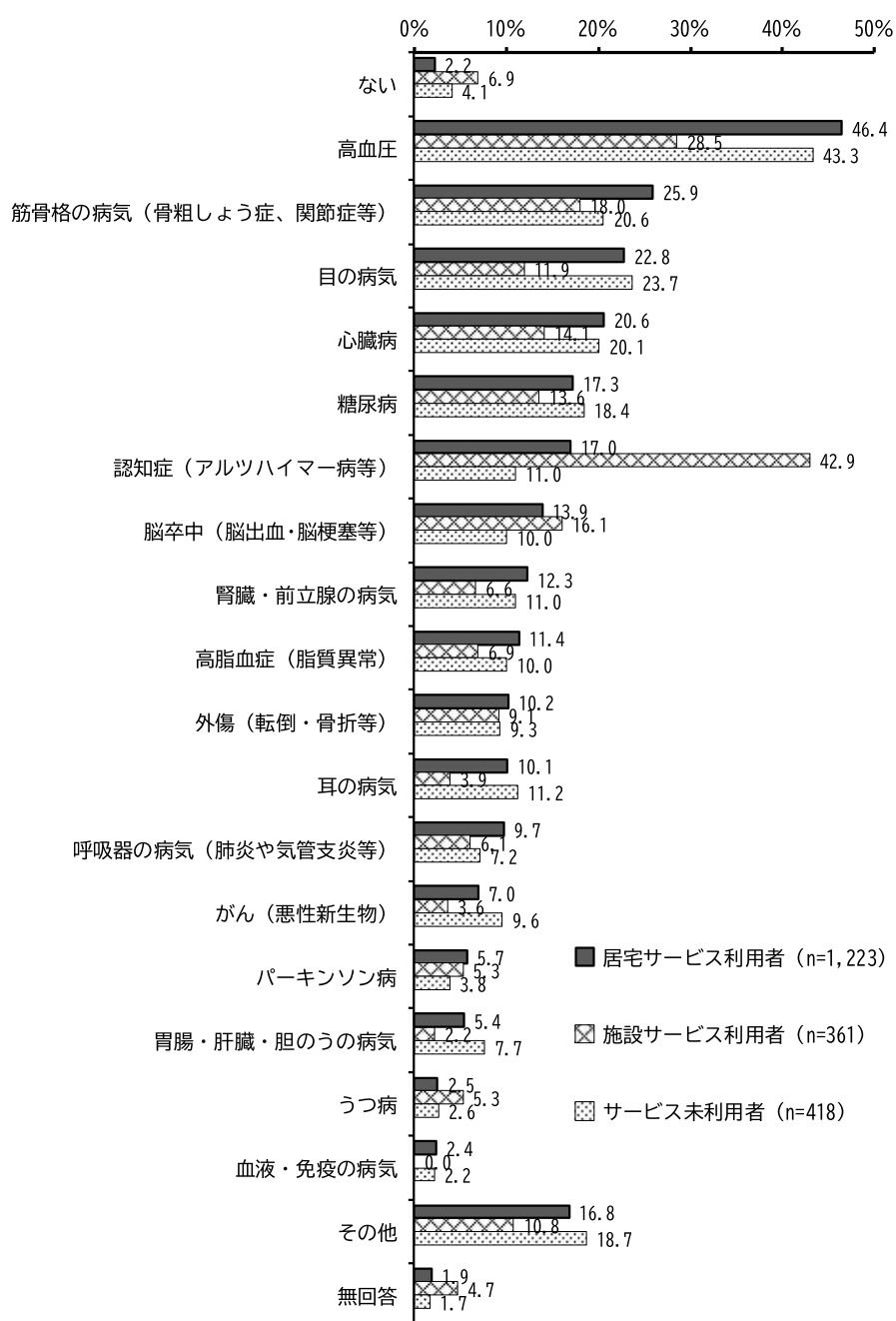
- ・ 居宅サービス利用者では、「買い物をする場所が近くにない」(22.1%)が最も多く、次いで「住まいの段差や階段などの物理的な障壁」(21.9%)、「家族が近くにいない」(11.1%)、「鉄道やバスの利用が不便」(11.0%)と続いている。一方、「特にない」は39.1%となっている。
- ・ 施設サービス利用者では、「住まいの段差や階段などの物理的な障壁」(35.3%)が最も多く、次いで「買い物をする場所が近くにない」(16.1%)、「家族が近くにいない」(8.5%)、「住まいの利用にかかる費用(家賃など)」(8.0%)、「家の周りの道に歩道がない、狭い」と「鉄道やバスの利用が不便」(7.6%)と続いている。一方、「特にない」は39.7%となっている。
- ・ サービス未利用者では、「買い物をする場所が近くにない」(23.5%)が最も多く、次いで「住まいの段差や階段などの物理的な障壁」(21.7%)、「家族が近くにいない」(11.6%)、「鉄道やバスの利用が不便」(9.4%)、「家の周りの道に歩道がない、狭い」(6.2%)と続いている。一方、「特にない」は37.3%となっている。



(3) 医療について

問2 現在治療中、又は後遺症のある病気はありますか。(いくつでも○)

- ・居宅サービス利用者では、「高血圧」(46.4%)が最も多く、次いで「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(25.9%)、「目の病気」(22.8%)、「心臓病」(20.6%)、「糖尿病」(17.3%)と続いている。一方、「ない」は2.2%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「認知症(アルツハイマー病等)」(42.9%)が最も多く、次いで「高血圧」(28.5%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(18.0%)、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」(16.1%)、「心臓病」(14.1%)と続いている。一方、「ない」は6.9%となっている。
- ・サービス未利用者では、「高血圧」(43.3%)が最も多く、次いで「目の病気」(23.7%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(20.6%)、「心臓病」(20.1%)、「糖尿病」(18.4%)と続いている。一方、「ない」は4.1%となっている。

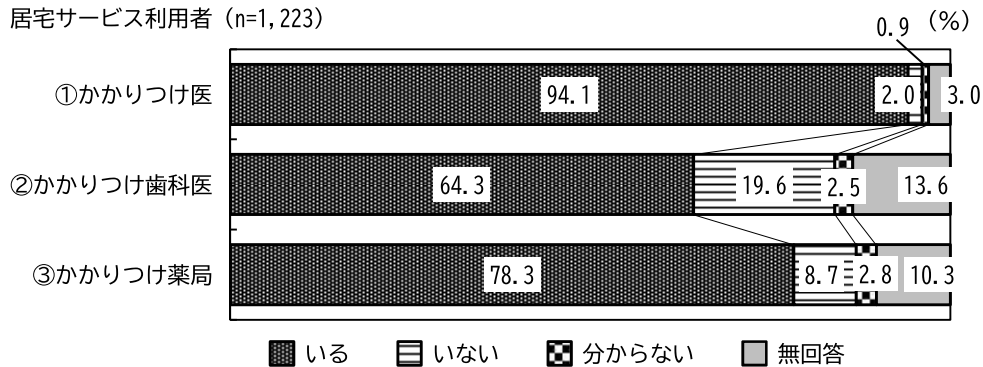


問3 あなたには、あなたの生活の状況などを理解していて、健康や病気のことを日ごろから気軽に相談できる「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」、「かかりつけ薬局」がいますか。

(それぞれ1つに○)

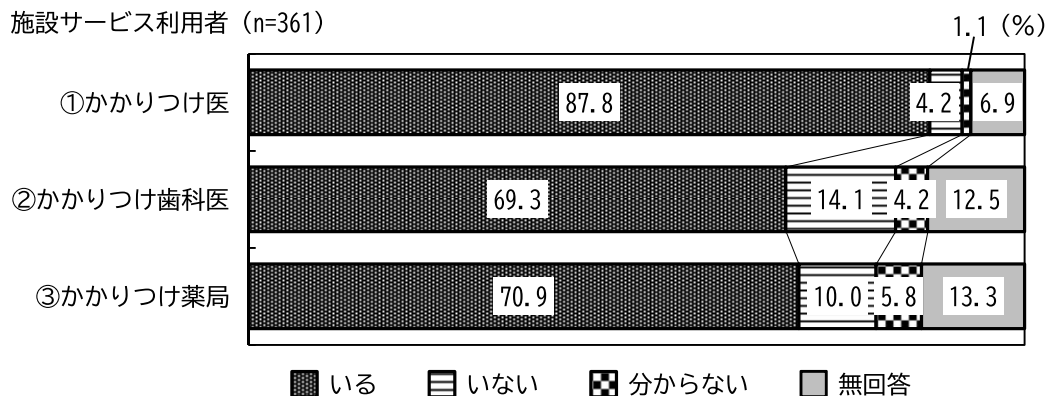
○居宅サービス利用者

・「いる」割合は、『かかりつけ医』が94.1%、『かかりつけ歯科医』が64.3%、『かかりつけ薬局』が78.3%となっている。



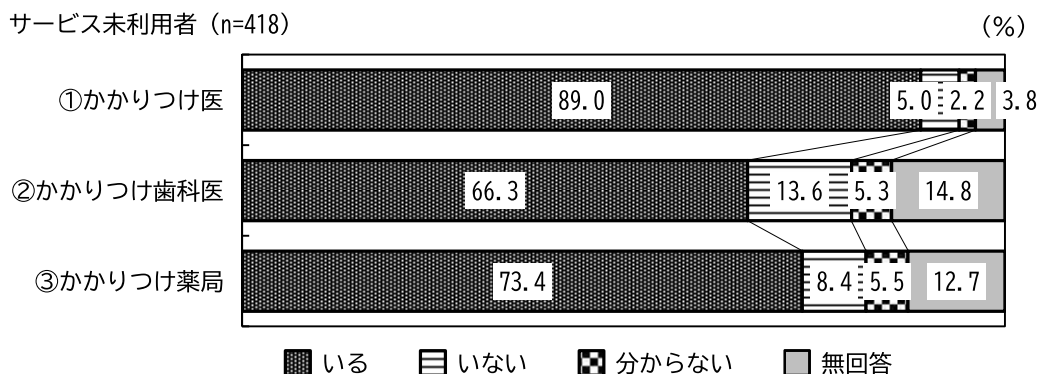
○施設サービス利用者

・「いる」割合は、『かかりつけ医』が87.8%、『かかりつけ歯科医』が69.3%、『かかりつけ薬局』が70.9%となっている。



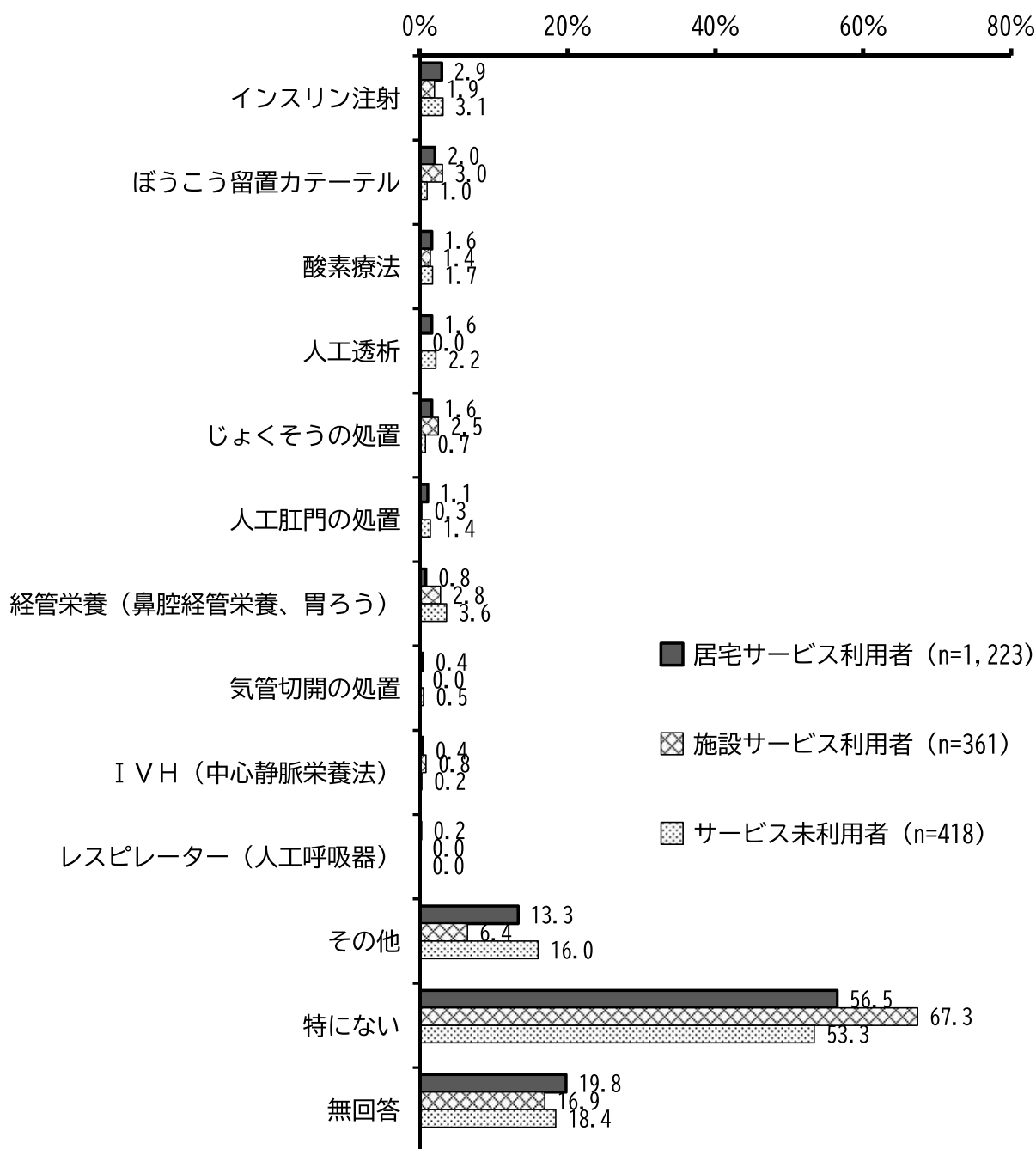
○サービス未利用者

・「いる」割合は、『かかりつけ医』が89.0%、『かかりつけ歯科医』が66.3%、『かかりつけ薬局』が73.4%となっている。



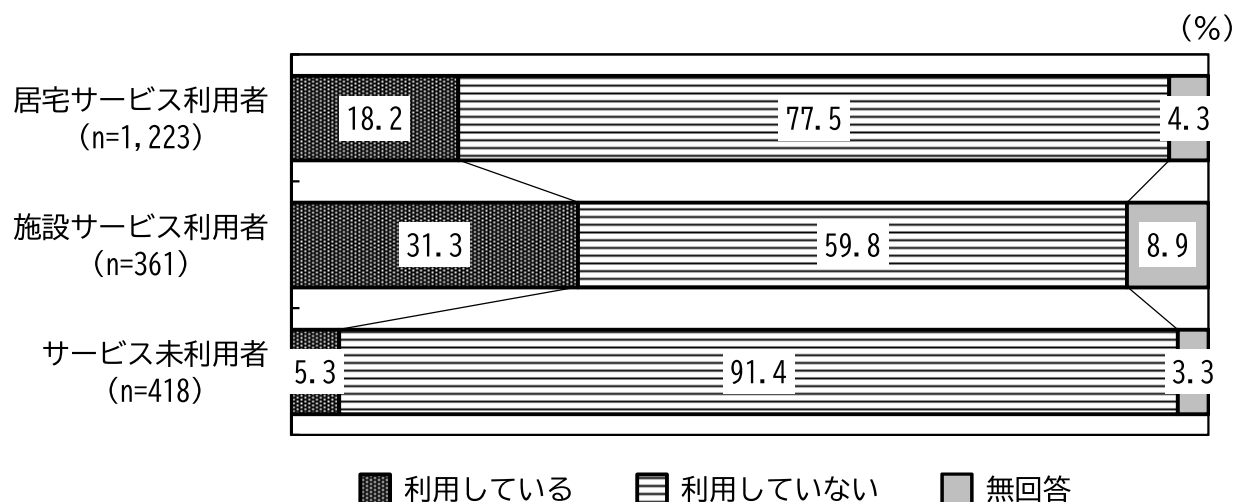
問4 あなたが現在受けている医療処置はありますか。(いくつでも○)

- ・居宅サービス利用者では、「インスリン注射」(2.9%)が最も多く、次いで「ぼうこう留置カテーテル」(2.0%)、「酸素療法」「人工透析」「じょくそうの処置」(それぞれ1.6%)と続いている。一方、「特にない」は56.5%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「ぼうこう留置カテーテル」(3.0%)が最も多く、次いで「経管栄養(鼻腔経管栄養、胃ろう)」(2.8%)、「じょくそうの処置」(2.5%)、「インスリン注射」(1.9%)、「酸素療法」(1.4%)と続いている。一方、「特にない」は67.3%となっている。
- ・サービス未利用者では、「経管栄養(鼻腔経管栄養、胃ろう)」(3.6%)が最も多く、次いで「インスリン注射」(3.1%)、「人工透析」(2.2%)、「酸素療法」(1.7%)、「人工肛門の処置」(1.4%)と続いている。一方、「特にない」は53.3%となっている。



問5 現在、訪問診療を利用していますか。(1つに○)

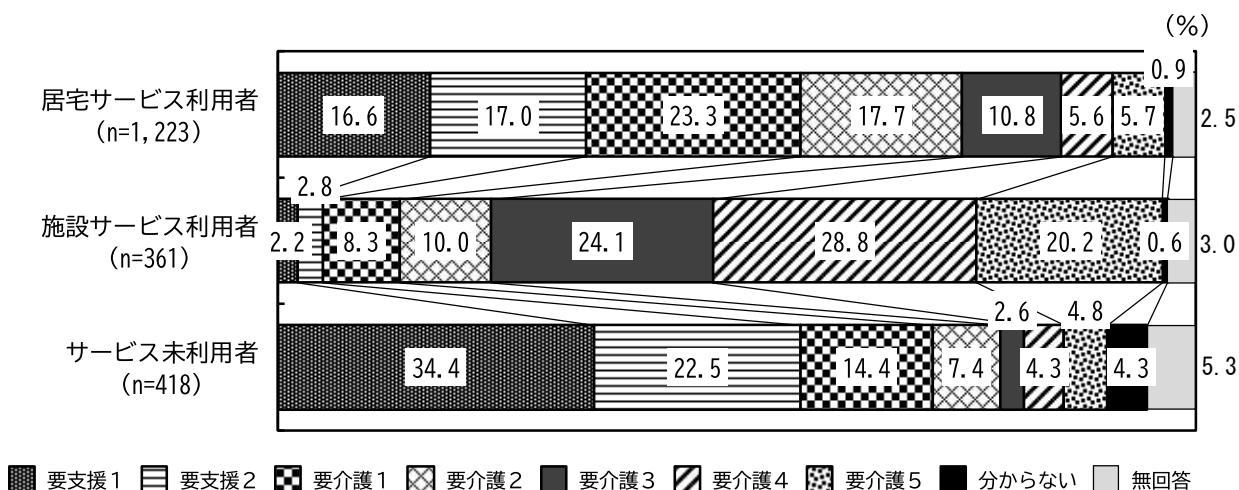
- ・「利用している」割合は、居宅サービス利用者では18.2%、施設サービス利用者では31.3%、サービス未利用者では5.3%となっている。



(4) 介護保険について

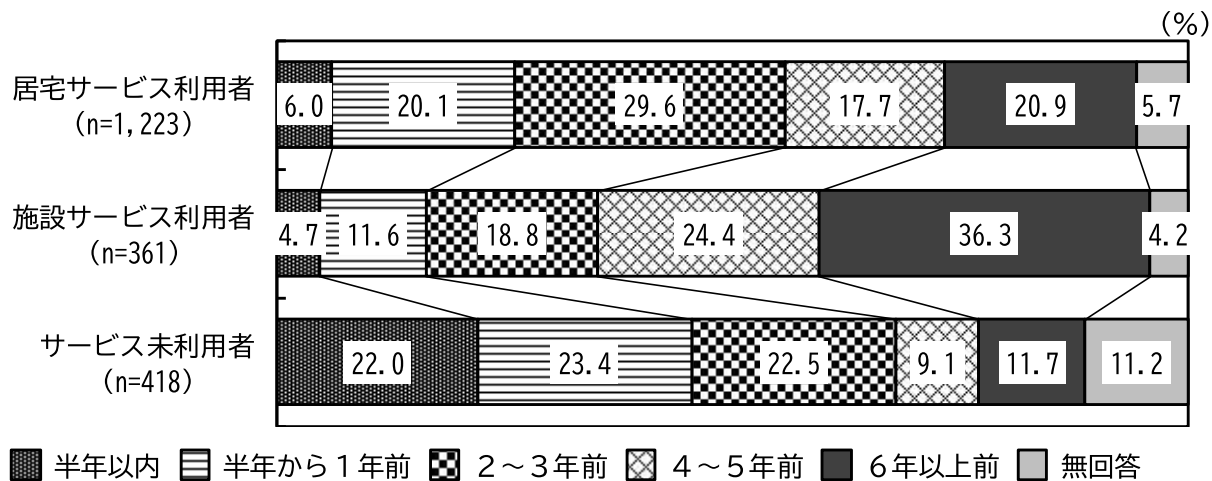
問6 あなたの要介護度は次のうちどれですか。(1つに○) ※令和元年10月1日現在の要介護度でお答えください。更新申請中などの理由で、結果が出ていない方は、分かっている介護度でお答えください。

- ・居宅サービス利用者では、「要介護1」(23.3%)が最も多く、次いで「要介護2」(17.7%)、「要支援2」(17.0%)、「要支援1」(16.6%)と続いている。
- ・施設サービス利用者では、「要介護4」(28.8%)が最も多く、次いで「要介護3」(24.1%)、「要介護5」(20.2%)、「要介護2」(10.0%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「要支援1」(34.4%)が最も多く、次いで「要支援2」(22.5%)、「要介護1」(14.4%)と続いている。



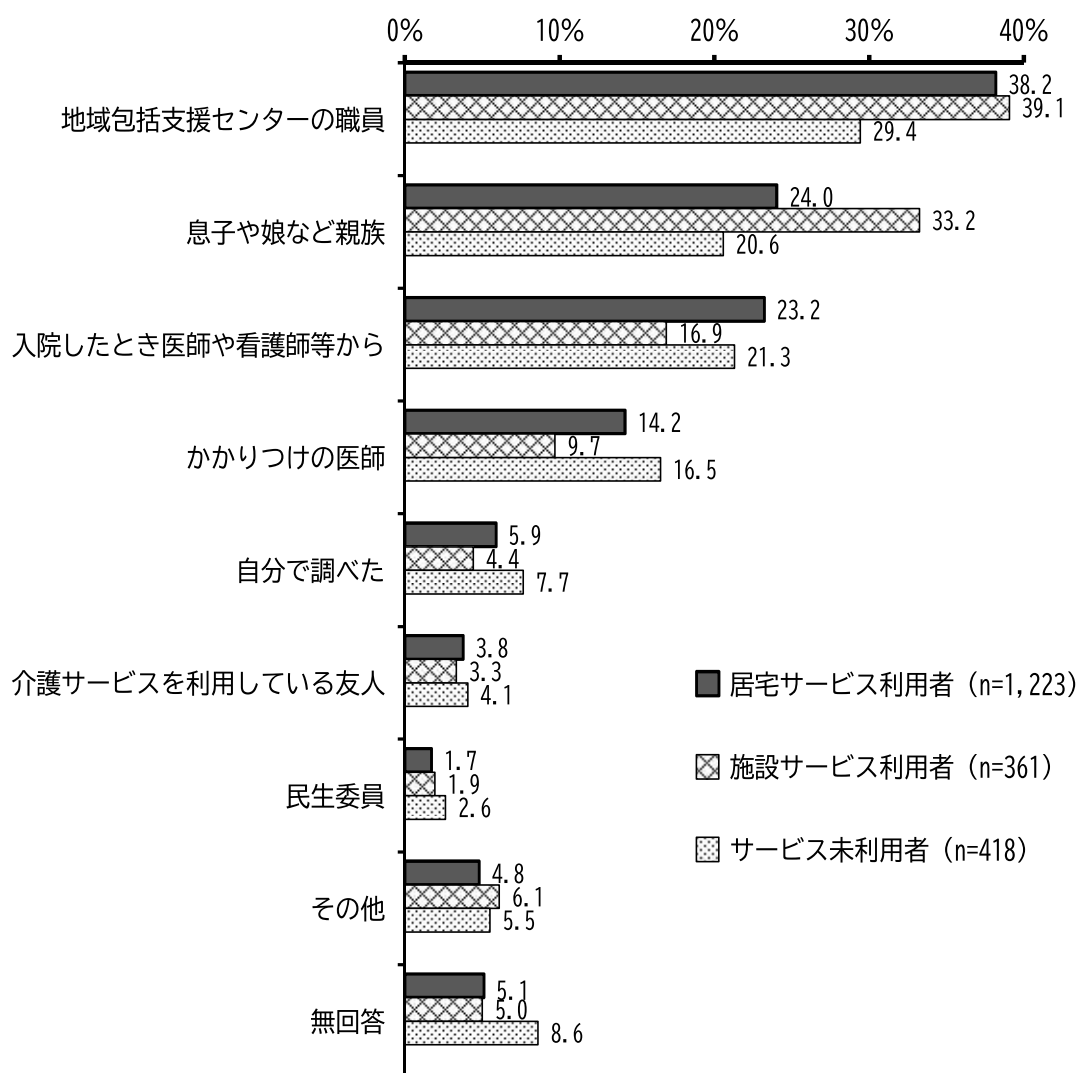
問7 最初に要介護認定を受けた時期はいつ頃ですか。(1つに○)

- ・ 居宅サービス利用者では、「2～3年前」(29.6%)が最も多く、次いで「6年以上前」(20.9%)、「半年から1年前」(20.1%)、「4～5年前」(17.7%)と続いている。
- ・ 施設サービス利用者では、「6年以上前」(36.3%)が最も多く、次いで「4～5年前」(24.4%)、「2～3年前」(18.8%)、「半年から1年前」(11.6%)と続いている。
- ・ サービス未利用者では、「半年から1年前」(23.4%)が最も多く、次いで「2～3年前」(22.5%)、「半年以内」(22.0%)、「6年以上前」(11.7%)と続いている。



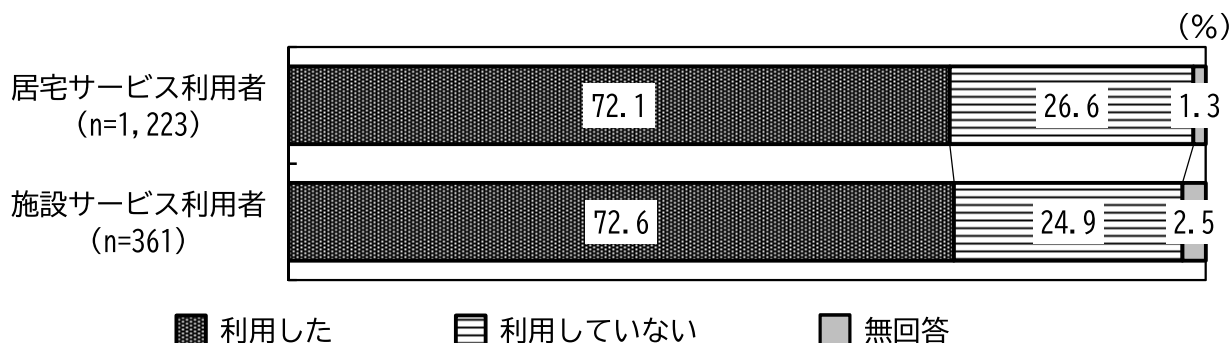
問8 最初に要介護認定を受けたとき、どなたから申請を勧められましたか。(いくつでも○)

- ・居宅サービス利用者では、「地域包括支援センターの職員」(38.2%)が最も多く、次いで「息子や娘など親族」(24.0%)、「入院したとき医師や看護師等から」(23.2%)、「かかりつけの医師」(14.2%)と続いている。
- ・施設サービス利用者では、「地域包括支援センターの職員」(39.1%)が最も多く、次いで「息子や娘など親族」(33.2%)、「入院したとき医師や看護師等から」(16.9%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「地域包括支援センターの職員」(29.4%)が最も多く、次いで「入院したとき医師や看護師等から」(21.3%)、「息子や娘など親族」(20.6%)、「かかりつけの医師」(16.5%)と続いている。



問9 令和元年9月の1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用しましたか。(1つに○)

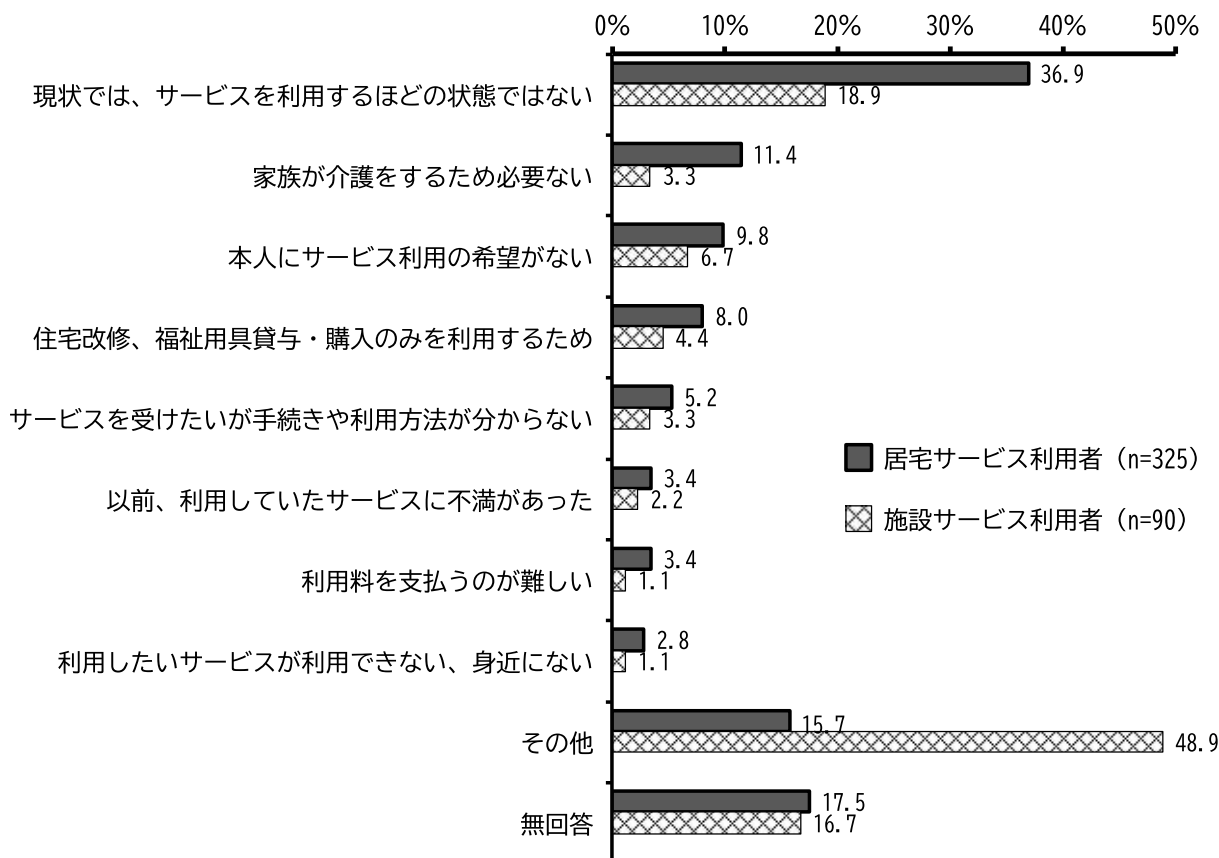
・「利用した」は、居宅サービス利用者では72.1%、施設サービス利用者では72.6%となっている。



「問9で「2. 利用していない」と回答した方におたずねします」

問9-1 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。(いくつでも○)

- ・居宅サービス利用者では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(36.9%)が最も多く、次いで「家族が介護をするため必要ない」(11.4%)、「本人にサービス利用の希望がない」(9.8%)、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」(8.0%)、「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」(5.2%)と続いている。
- ・施設サービス利用者では、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」(18.9%)が最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」(6.7%)、「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため」(4.4%)、「家族が介護をするため必要ない」「サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない」(ともに3.3%)と続いている。

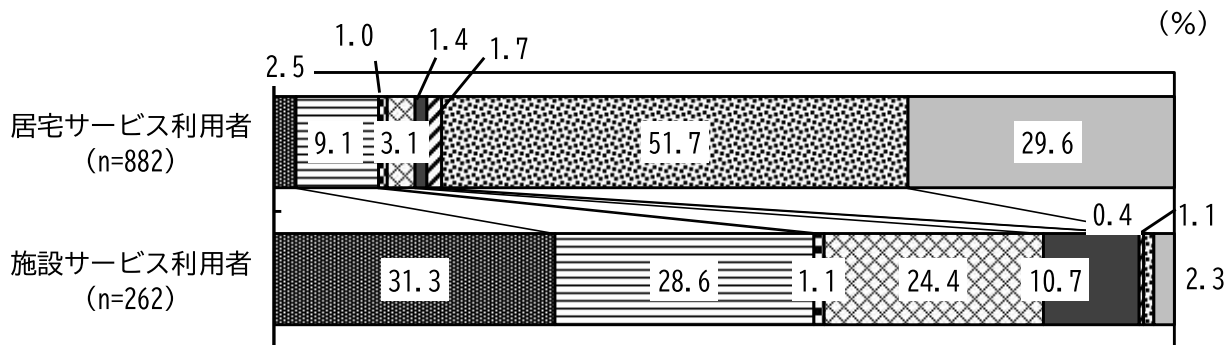


「問9で「1. 利用した」と回答した方におたずねします」

問9-2 介護保険サービスについて、令和元年9月の1か月間で下記のサービスを利用しましたか。（※要支援1、2の方は、それぞれ介護予防サービスと読みかえてお答えください。）

(1) 施設・居住系サービス（1つに○）

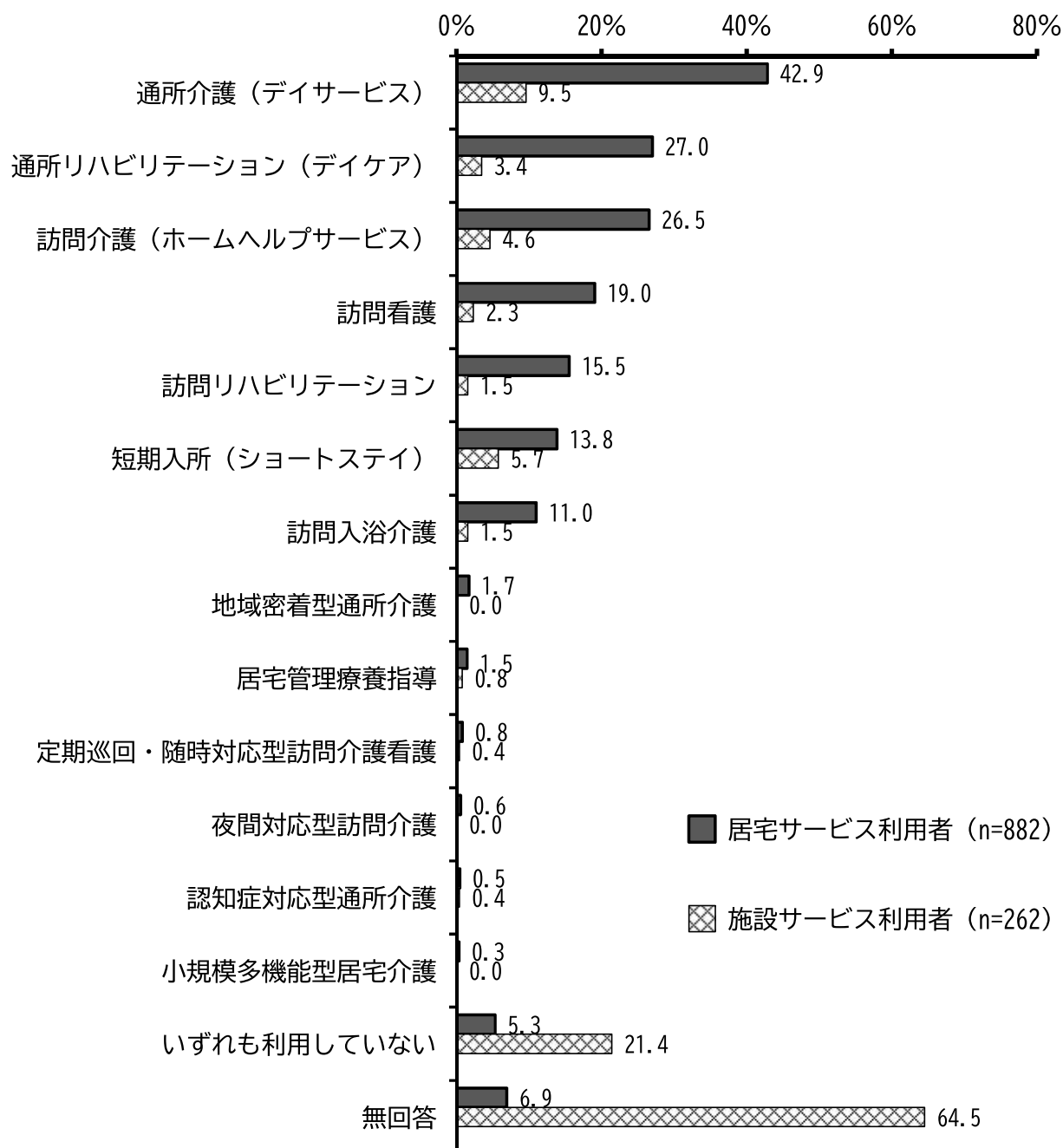
- ・居宅サービス利用者では、「介護老人保健施設（老人保健施設）」(9.1%)が最も多く、次いで「特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム等）」(3.1%)、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」(2.5%)と続いている。一方、「いずれも利用していない」は51.7%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」(31.3%)が最も多く、次いで「介護老人保健施設（老人保健施設）」(28.6%)、「特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム等）」(24.4%)、「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」(10.7%)と続いている。一方、「いずれも利用していない」は1.1%となっている。



- 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）
- 介護老人保健施設（老人保健施設）
- 介護医療院（介護療養型医療施設）
- 特定施設入居者生活介護（有料老人ホーム等）
- 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
- 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
- いずれも利用していない
- 無回答

問9-2 (2) 自宅で生活をしながら利用するサービス (いくつでも○)

- ・居宅サービス利用者では、「通所介護 (デイサービス) 」(42.9%)が最も多く、次いで「通所リハビリテーション (デイケア) 」(27.0%)、「訪問介護 (ホームヘルプサービス) 」(26.5%)、「訪問看護」(19.0%)、「訪問リハビリテーション」(15.5%)と続いている。一方、「いずれも利用していない」は5.3%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「通所介護 (デイサービス) 」(9.5%)が最も多く、次いで「短期入所 (ショートステイ) 」(5.7%)、「訪問介護 (ホームヘルプサービス) 」(4.6%)と続いている。一方、「いずれも利用していない」は21.4%となっている。

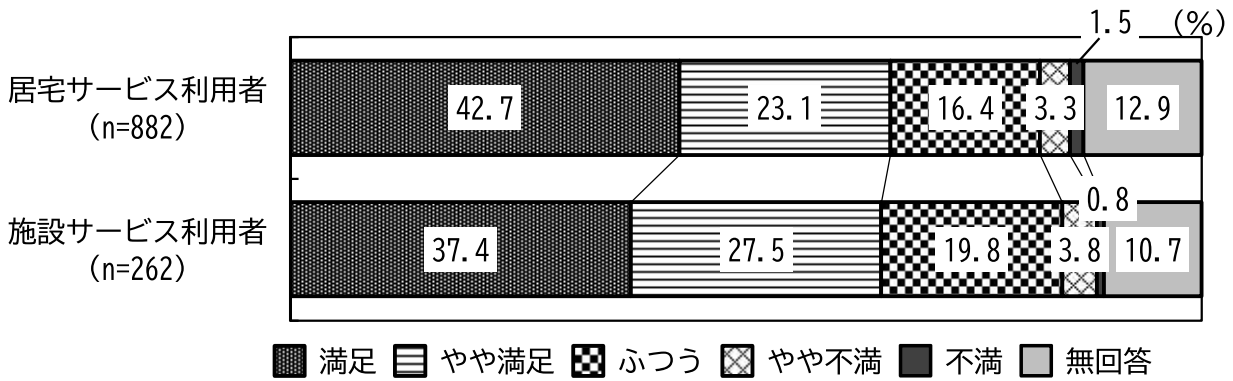


「問9で「1. 利用した」と回答した方におたずねします」

問9-3 利用中のサービスの「総合的な満足度」についてお答えください。

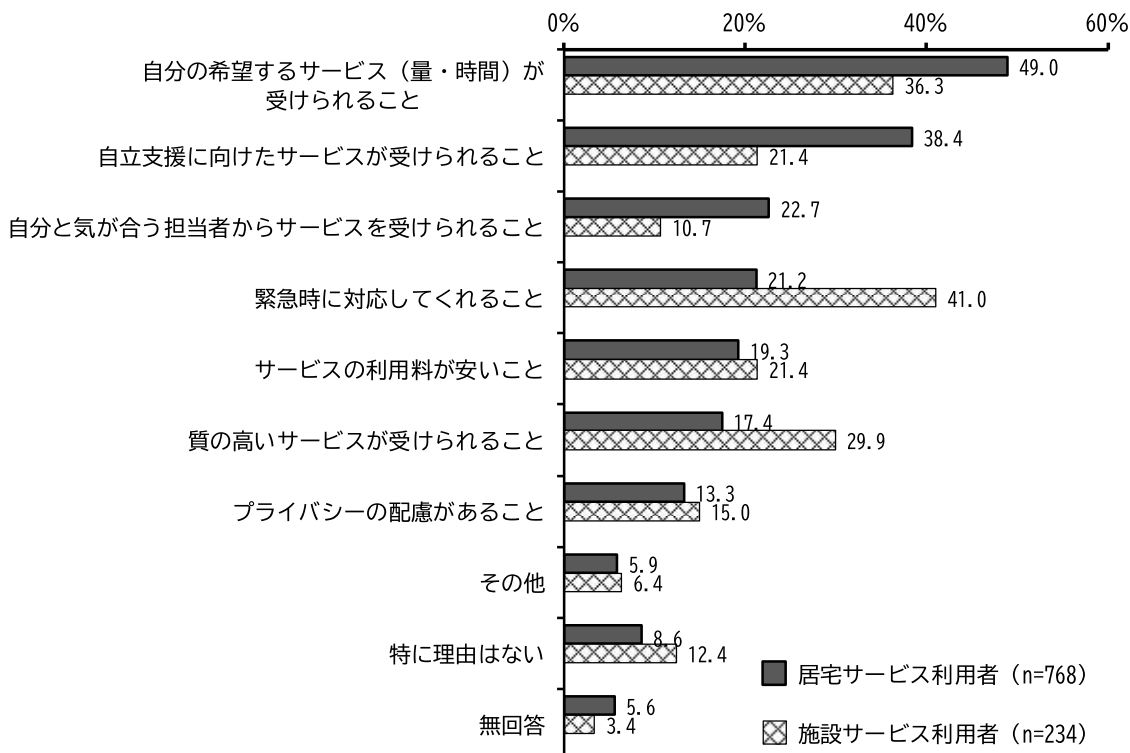
(1) 総合的な満足度 (1つに○)

- ・ 居宅サービス利用者では、「満足」(42.7%)、「やや満足」(23.1%)を合わせた割合は65.8%となっている。一方、「やや不満」(3.3%)、「不満」(1.5%)を合わせた割合は4.8%となっている。
- ・ 施設サービス利用者では、「満足」(37.4%)、「やや満足」(27.5%)を合わせた割合は64.9%となっている。一方、「やや不満」(3.8%)、「不満」(0.8%)を合わせた割合は4.6%となっている。



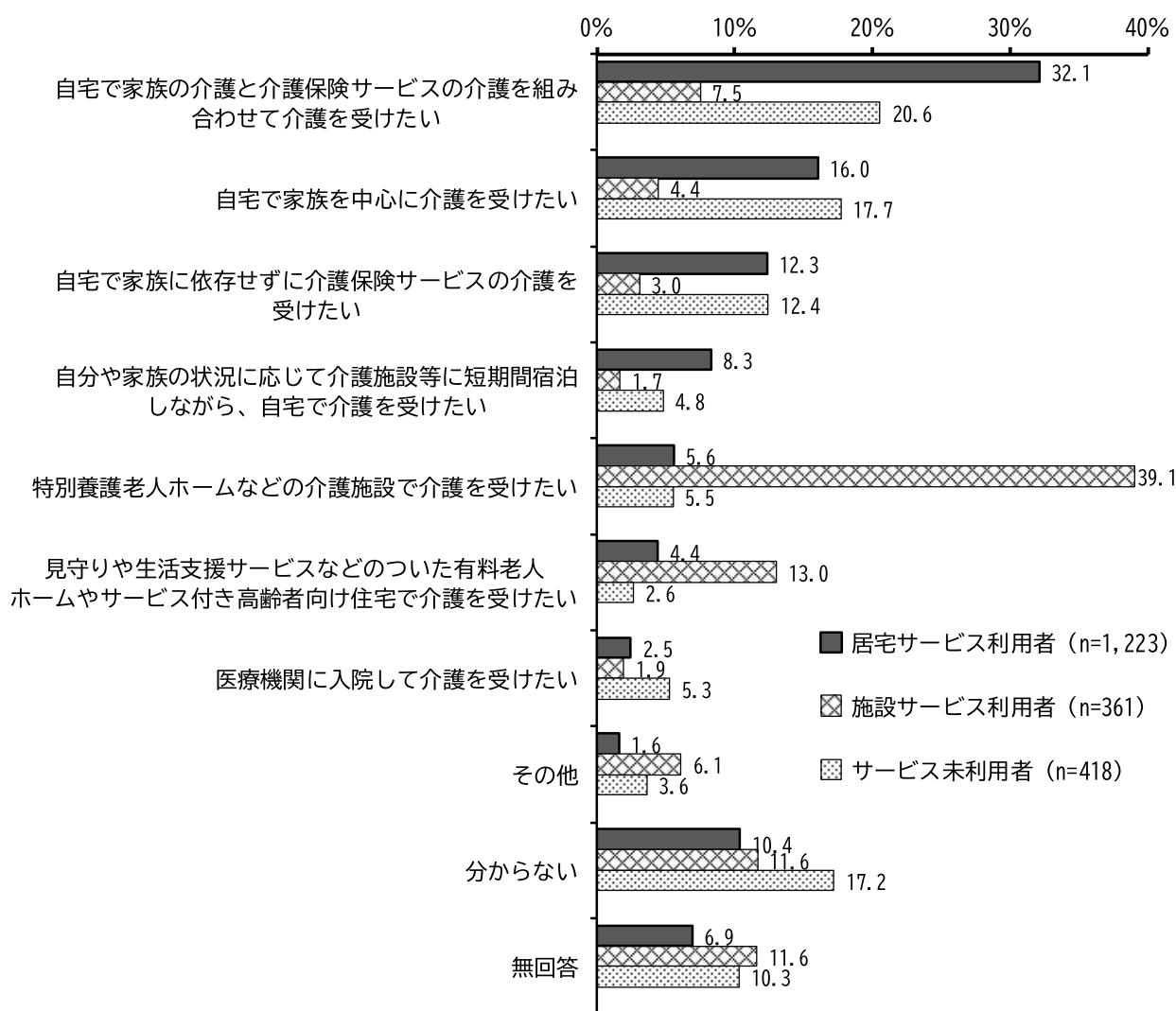
問9-3 (2) 「総合的な満足度」について、○をつけた基準についてお教えてください。(いくつでも○)

- ・ 居宅サービス利用者では、「自分の希望するサービス(量・時間)が受けられること」(49.0%)が最も多く、次いで「自立支援に向けたサービスが受けられること」(38.4%)、「自分と気が合う担当者からサービスを受けられること」(22.7%)、「緊急時に対応してくれること」(21.2%)、「サービスの利用料が安いこと」(19.3%)と続いている。一方、「特に理由はない」は8.6%となっている。
- ・ 施設サービス利用者では、「緊急時に対応してくれること」(41.0%)が最も多く、次いで「自分の希望するサービス(量・時間)が受けられること」(36.3%)、「質の高いサービスが受けられること」(29.9%)、「自立支援に向けたサービスが受けられること」と「サービスの利用料が安いこと」(ともに21.4%)と続いている。一方、「特に理由はない」は12.4%となっている。



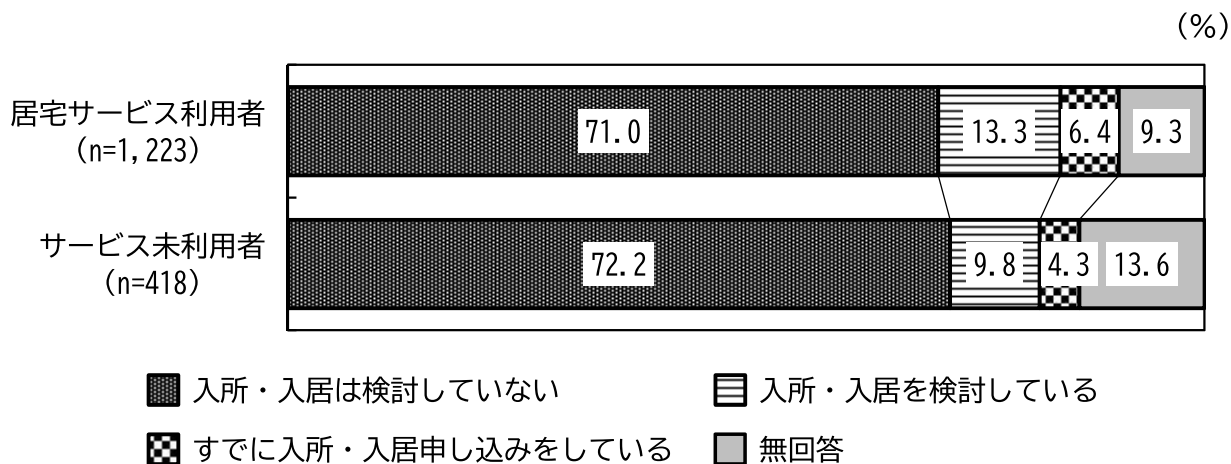
問 10 あなたは、今後、どこで生活したいと考えていますか。（1つに○）

- ・居宅サービス利用者では、「自宅で家族の介護と介護保険サービスの介護を組み合わせたい」（32.1%）が最も多く、次いで「自宅で家族を中心に介護を受けたい」（16.0%）、「自宅で家族に依存せずに介護保険サービスの介護を受けたい」（12.3%）と続いている。一方、「分からない」は10.4%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「特別養護老人ホームなどの介護施設で介護を受けたい」（39.1%）が最も多く、次いで「見守りや生活支援サービスなどのついた有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅で介護を受けたい」（13.0%）、「自宅で家族の介護と介護保険サービスの介護を組み合わせたい」（7.5%）と続いている。一方、「分からない」は11.6%となっている。
- ・サービス未利用者では、「自宅で家族の介護と介護保険サービスの介護を組み合わせたい」（20.6%）が最も多く、次いで「自宅で家族を中心に介護を受けたい」（17.7%）、「自宅で家族に依存せずに介護保険サービスの介護を受けたい」（12.4%）と続いている。一方、「分からない」は17.2%となっている。



問 11 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況についてうかがいます。（1つに○）

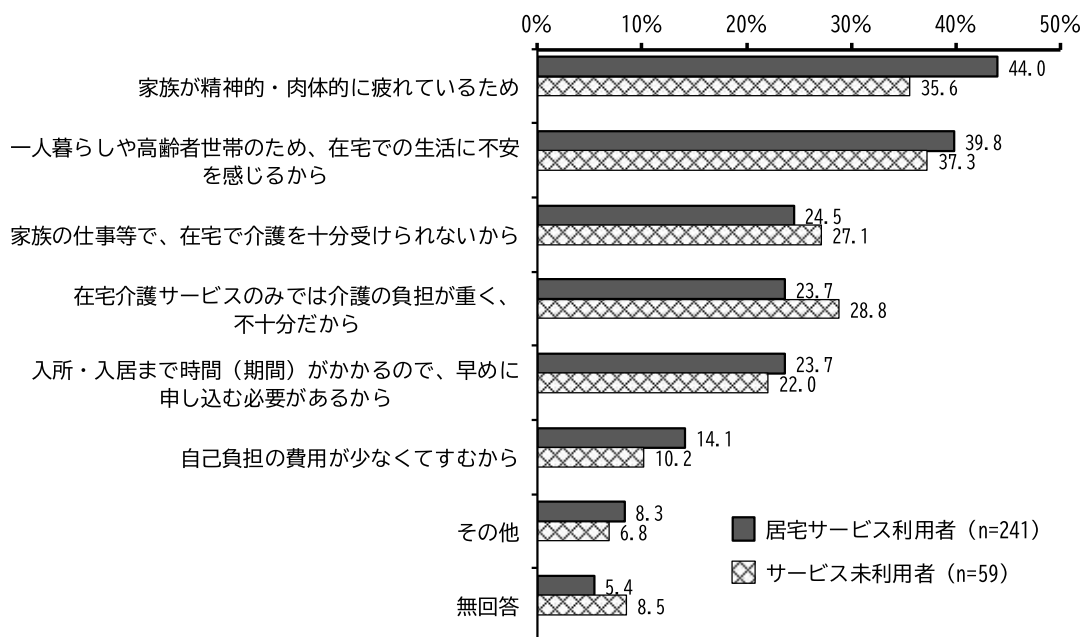
- ・居宅サービス利用者では、「入所・入居は検討していない」が71.0%、「入所・入居を検討している」が13.3%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が6.4%となっている。
- ・サービス未利用者では、「入所・入居は検討していない」が72.2%、「入所・入居を検討している」が9.8%となっている。



「問 11 で「2」又は「3」と回答した方におたずねします」

問 11-1 申し込みをしている又は検討している理由は何ですか。（いくつでも○）

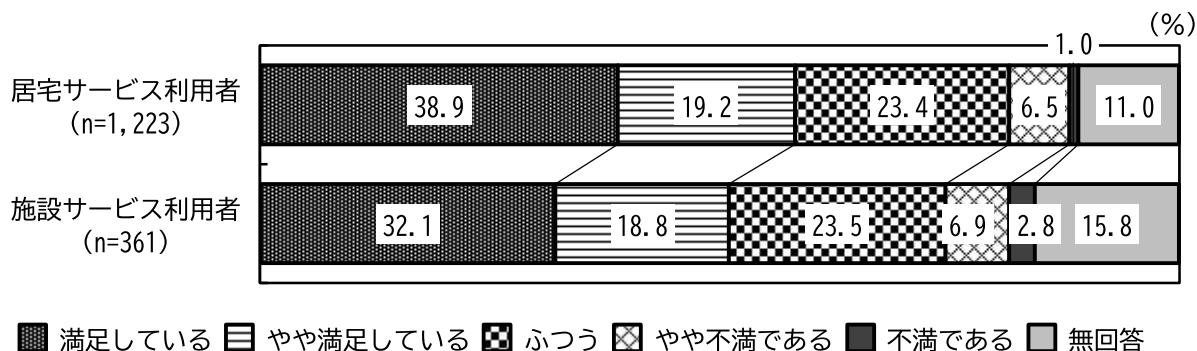
- ・居宅サービス利用者では、「家族が精神的・肉体的に疲れているため」(44.0%)が最も多く、次いで「一人暮らしや高齢者世帯のため、在宅での生活に不安を感じるから」(39.8%)、「家族の仕事等で、在宅で介護を十分受けられないから」(24.5%)、「在宅介護サービスのみでは介護の負担が重く、不十分だから」「入所・入居まで時間（期間）がかかるので、早めに申し込む必要があるから」(ともに 23.7%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「一人暮らしや高齢者世帯のため、在宅での生活に不安を感じるから」(37.3%)が最も多く、次いで「家族が精神的・肉体的に疲れているため」(35.6%)、「在宅介護サービスのみでは介護の負担が重く、不十分だから」(28.8%)、「家族の仕事等で、在宅で介護を十分受けられないから」(27.1%)、「入所・入居まで時間（期間）がかかるので、早めに申し込む必要があるから」(22.0%)と続いている。



(4) 利用者本位のサービスのあり方について

問 12 あなたは、現在の（介護予防）ケアプランに満足していますか。（1つに○）

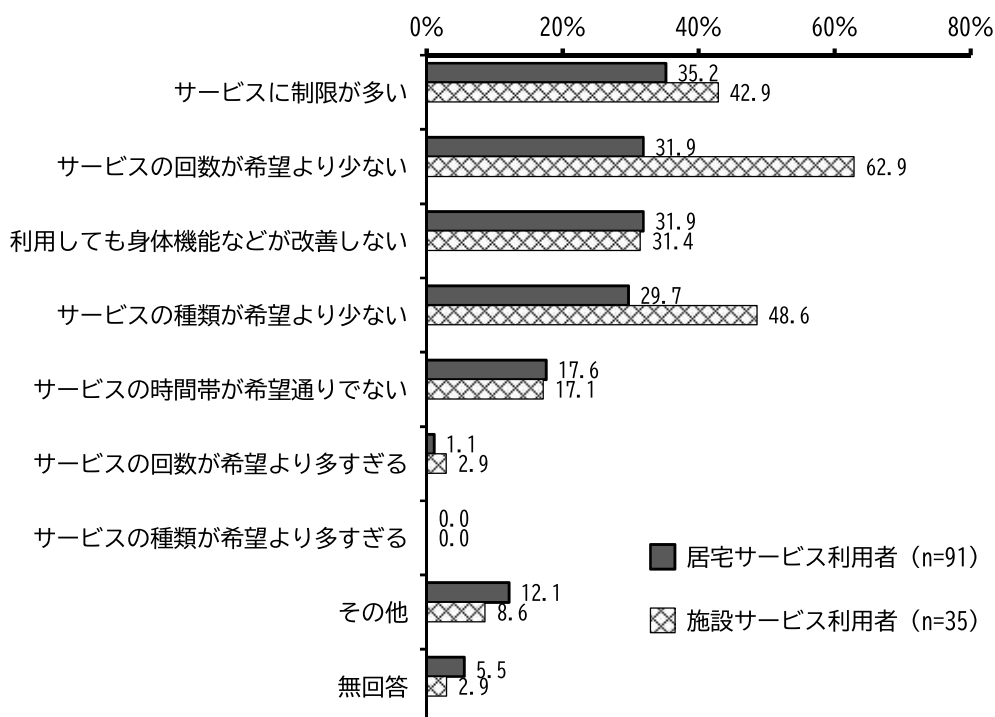
- ・居宅サービス利用者では、「満足している」(38.9%)、「やや満足している」(19.2%)を合わせた割合は58.1%となっている。一方、「やや不満である」(6.5%)、「不満である」(1.0%)を合わせた割合は7.5%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「満足している」(32.1%)、「やや満足している」(18.8%)を合わせた割合は50.9%となっている。一方、「やや不満である」(6.9%)、「不満である」(2.8%)を合わせた割合は9.7%となっている。



「問 12 で「4」又は「5」と答えた方におたずねします」

問 12-1 不満の内容は次のどれですか。（いくつでも○）

- ・居宅サービス利用者では、「サービスに制限が多い」(35.2%)が最も多く、次いで「サービスの回数が希望より少ない」(31.9%)、「サービスの種類が希望より少ない」(29.7%)、「サービスの時間帯が希望通りでない」(17.6%)と続いている。
- ・施設サービス利用者では、「サービスの回数が希望より少ない」(62.9%)が最も多く、次いで「サービスの種類が希望より少ない」(48.6%)、「サービスに制限が多い」(42.9%)、「利用しても身体機能などが改善しない」(31.4%)と続いている。



問 13 あなたは、ケアマネジャー（介護支援専門員）についてどのように感じていますか。

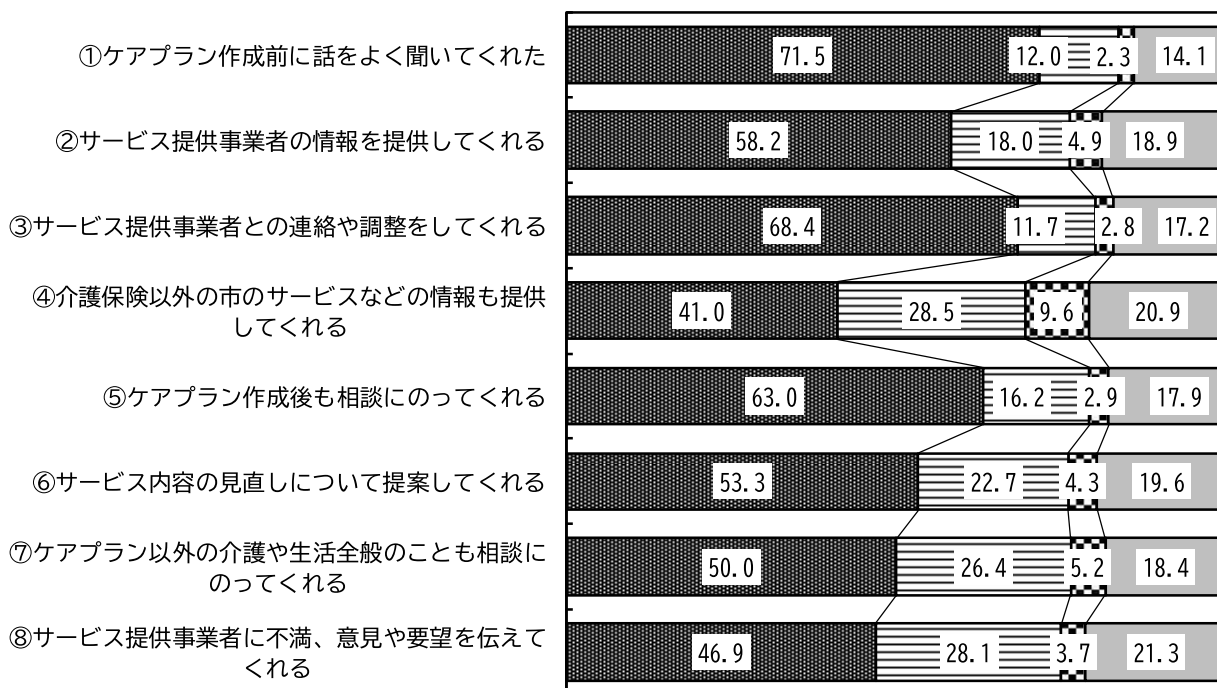
(①～⑧のそれぞれについて、1つずつ○)

○居宅サービス利用者

- ・「そう思う」の割合は、「①ケアプラン作成前に話をよく聞いてくれた」(71.5%)が最も多く、次いで「③サービス提供事業者との連絡や調整をしてくれる」(68.4%)、「⑤ケアプラン作成後も相談にのってくれる」(63.0%)、「②サービス提供事業者の情報を提供してくれる」(58.2%)、「⑥サービス内容の見直しについて提案してくれる」(53.3%)と続いている。
- ・一方、「そう思わない」の割合は、「④介護保険以外の市のサービスなどの情報も提供してくれる」(28.5%)が最も多く、次いで「⑧サービス提供事業者に不満、意見や要望を伝えてくれる」(28.1%)、「⑦ケアプラン以外の介護や生活全般のことも相談にのってくれる」(26.4%)、「⑥サービス内容の見直しについて提案してくれる」(22.7%)と続いている。

居宅サービス利用者 (n=1,223)

(%)



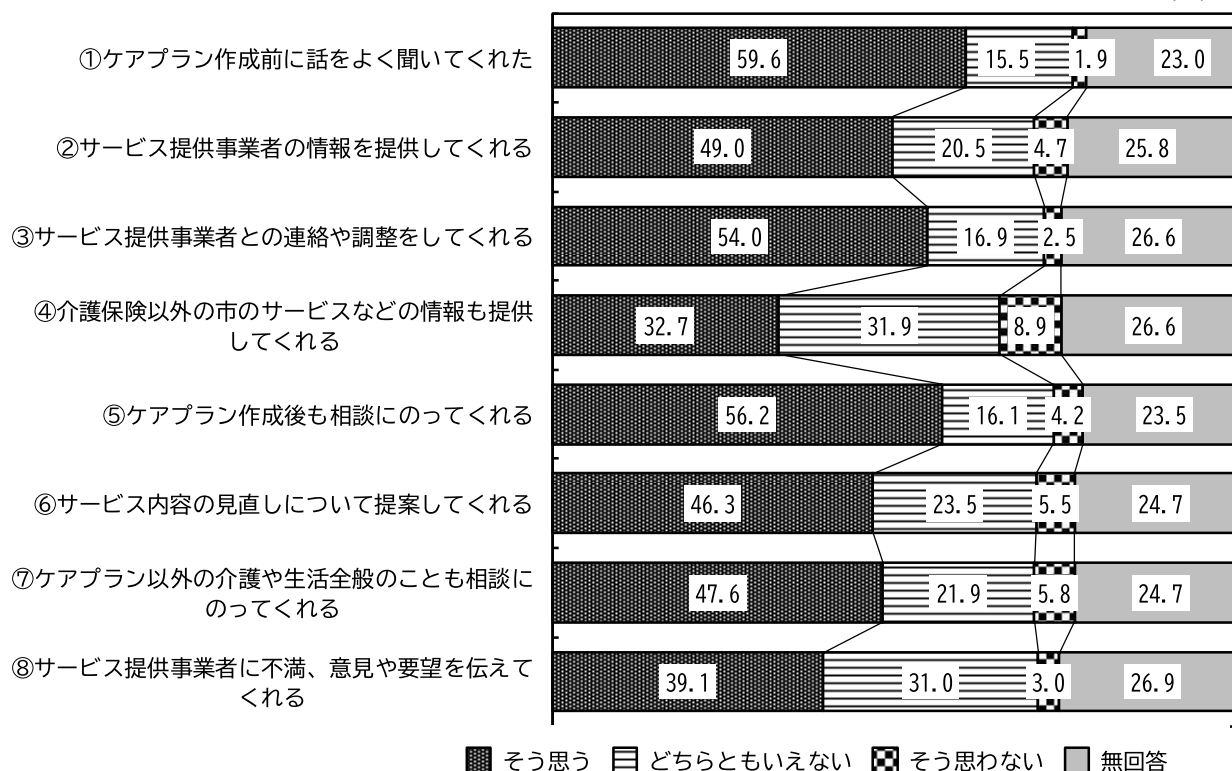
■ そう思う ▨ どちらともいえない ▩ そう思わない □ 無回答

○施設サービス利用者

- ・「そう思う」の割合は、「①ケアプラン作成前に話をよく聞いてくれた」(59.6%)が最も多く、次いで「⑤ケアプラン作成後も相談にのってくれる」(56.2%)、「③サービス提供事業者との連絡や調整をしてくれる」(54.0%)、「②サービス提供事業者の情報を提供してくれる」(49.0%)、「⑦ケアプラン以外の介護や生活全般のことも相談にのってくれる」(47.6%)と続いている。
- ・一方、「そう思わない」の割合は、「④介護保険以外の市のサービスなどの情報も提供してくれる」(8.9%)が最も多く、次いで「⑦ケアプラン以外の介護や生活全般のことも相談にのってくれる」(5.8%)、「⑥サービス内容の見直しについて提案してくれる」(5.5%)、「②サービス提供事業者の情報を提供してくれる」(4.7%)、「⑤ケアプラン作成後も相談にのってくれる」(4.2%)と続いている。

施設サービス利用者 (n=361)

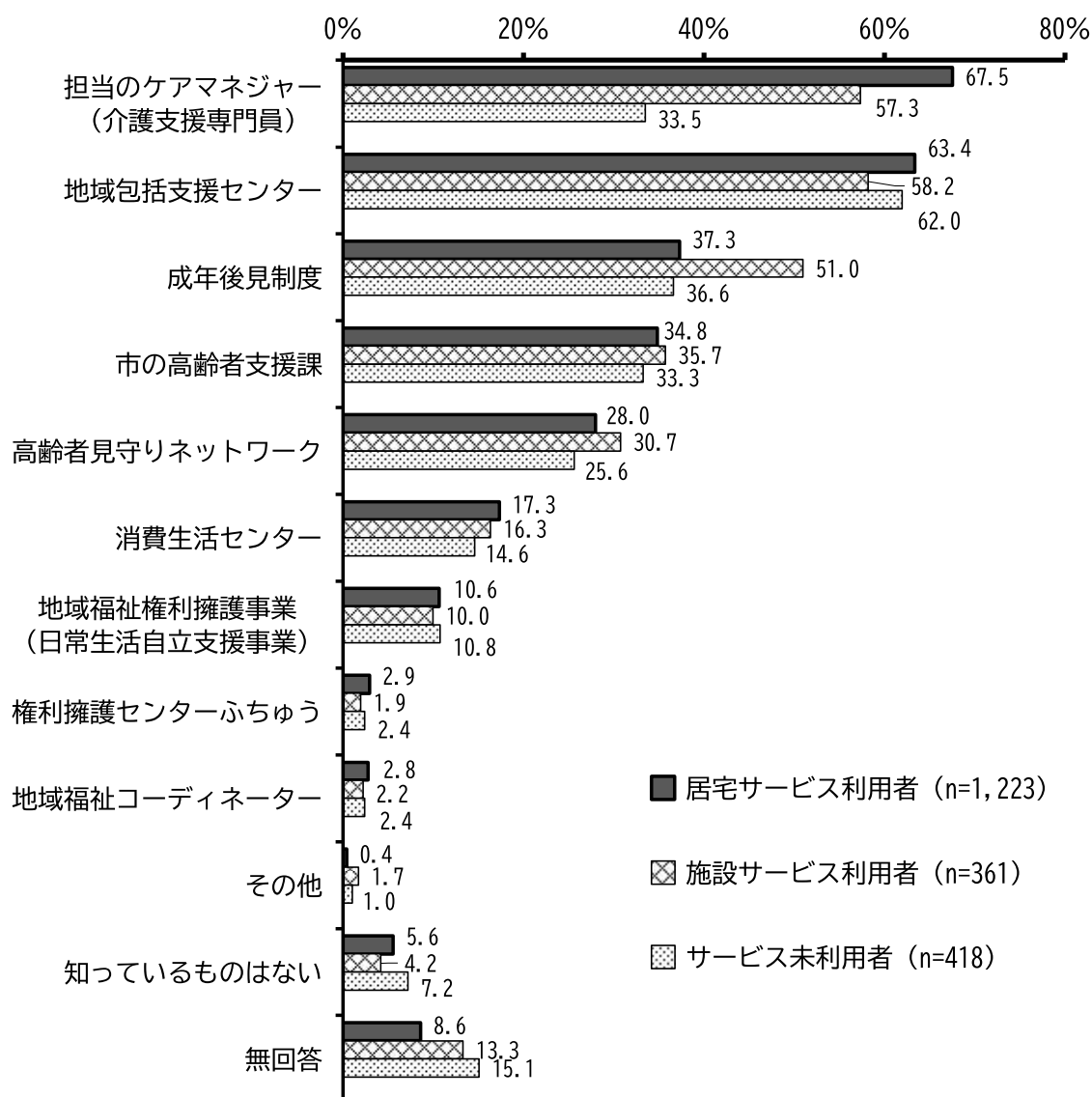
(%)



(5) 高齢者の権利擁護について

問 14 高齢者の権利や生活を守るための制度や相談窓口として、以下のようなものがありますが、あなたが知っているものはありますか。(いくつでも○)

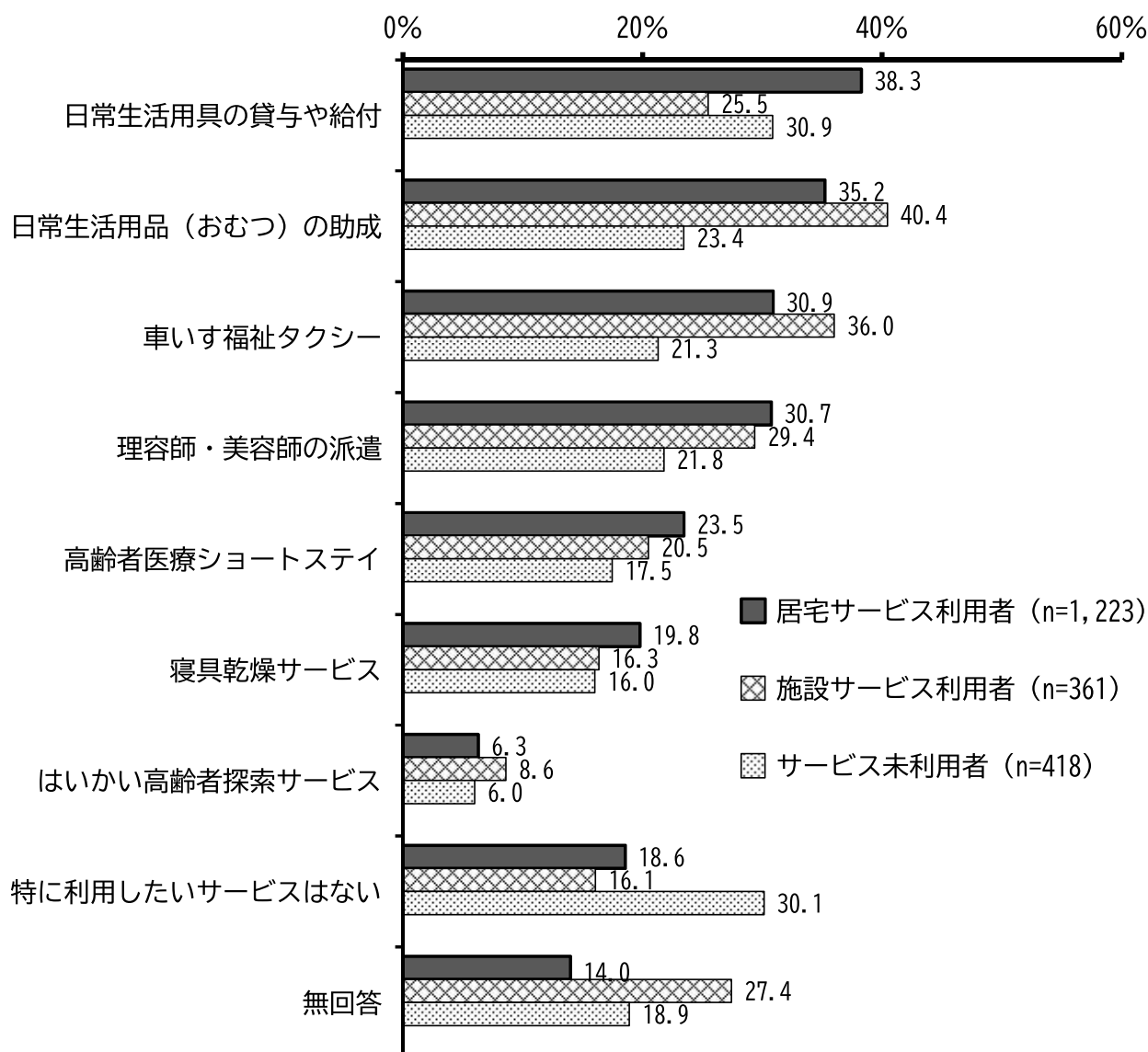
- ・ 居宅サービス利用者では、「担当のケアマネジャー（介護支援専門員）」(67.5%)が最も多く、次いで「地域包括支援センター」(63.4%)、「成年後見制度」(37.3%)、「市の高齢者支援課」(34.8%)、「高齢者見守りネットワーク」(28.0%)と続いている。一方、「知っているものはない」は5.6%となっている。
- ・ 施設サービス利用者では、「地域包括支援センター」(58.2%)が最も多く、次いで「担当のケアマネジャー（介護支援専門員）」(57.3%)、「成年後見制度」(51.0%)、「市の高齢者支援課」(35.7%)、「高齢者見守りネットワーク」(30.7%)と続いている。一方、「知っているものはない」は4.2%となっている。
- ・ サービス未利用者では、「地域包括支援センター」(62.0%)が最も多く、次いで「成年後見制度」(36.6%)、「担当のケアマネジャー（介護支援専門員）」(33.5%)、「市の高齢者支援課」(33.3%)、「高齢者見守りネットワーク」(25.6%)と続いている。一方、「知っているものはない」は7.2%となっている。



(6) 高齢者保健福祉サービスについて

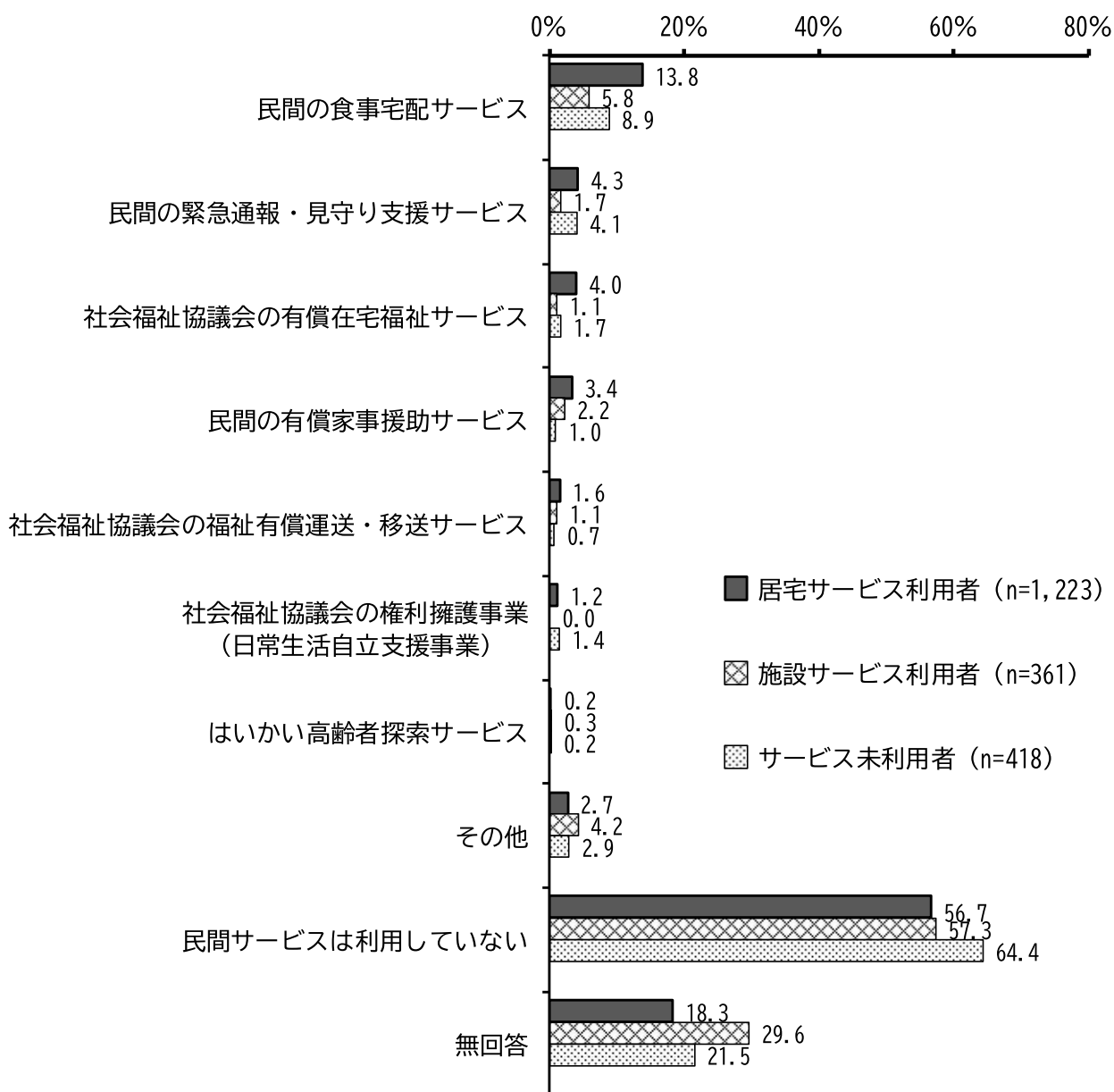
問 15 市では介護保険以外にも様々な高齢者保健福祉サービスを行っています。あなたは、以下のサービスを利用したいと思いますか。(いくつでも○)

- ・居宅サービス利用者では、「日常生活用具の貸与や給付」(38.3%)が最も多く、次いで「日常生活用品(おむつ)の助成」(35.2%)、「車いす福祉タクシー」(30.9%)、「理容師・美容師の派遣」(30.7%)、「高齢者医療ショートステイ」(23.5%)と続いている。一方、「特に利用したいサービスはない」は18.6%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「日常生活用品(おむつ)の助成」(40.4%)が最も多く、次いで「車いす福祉タクシー」(36.0%)、「理容師・美容師の派遣」(29.4%)、「日常生活用具の貸与や給付」(25.5%)、「高齢者医療ショートステイ」(20.5%)と続いている。一方、「特に利用したいサービスはない」は16.1%となっている。
- ・サービス未利用者では、「日常生活用具の貸与や給付」(30.9%)が最も多く、次いで「日常生活用品(おむつ)の助成」(23.4%)、「理容師・美容師の派遣」(21.8%)、「車いす福祉タクシー」(21.3%)、「高齢者医療ショートステイ」(17.5%)と続いている。一方、「特に利用したいサービスはない」は30.1%となっている。



問 16 あなたは、以下のような民間サービスを利用していますか。(いくつでも○)

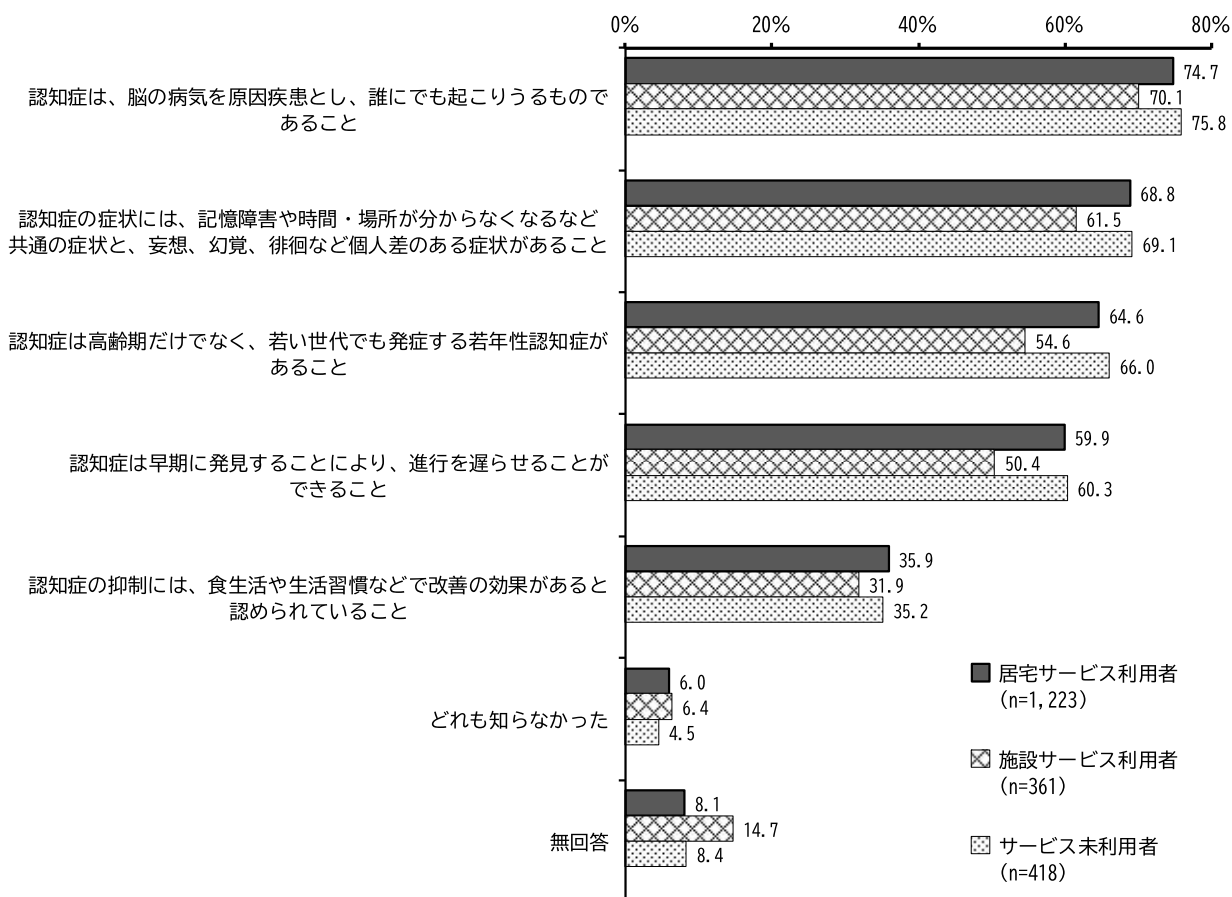
- ・居宅サービス利用者では、「民間の食事宅配サービス」(13.8%)が最も多く、次いで「民間の緊急通報・見守り支援サービス」(4.3%)、「社会福祉協議会の有償在宅福祉サービス」(4.0%)、「民間の有償家事援助サービス」(3.4%)と続いている。一方、「民間サービスは利用していない」は56.7%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「民間の食事宅配サービス」(5.8%)が最も多く、次いで「民間の有償家事援助サービス」(2.2%)、「民間の緊急通報・見守り支援サービス」(1.7%)と続いている。一方、「民間サービスは利用していない」は57.3%となっている。
- ・サービス未利用者では、「民間の食事宅配サービス」(8.9%)が最も多く、次いで「民間の緊急通報・見守り支援サービス」(4.1%)、「社会福祉協議会の有償在宅福祉サービス」(1.7%)、「社会福祉協議会の権利擁護事業(日常生活自立支援事業)」(1.4%)と続いている。一方、「民間サービスは利用していない」は64.4%となっている。



(7) 認知症について

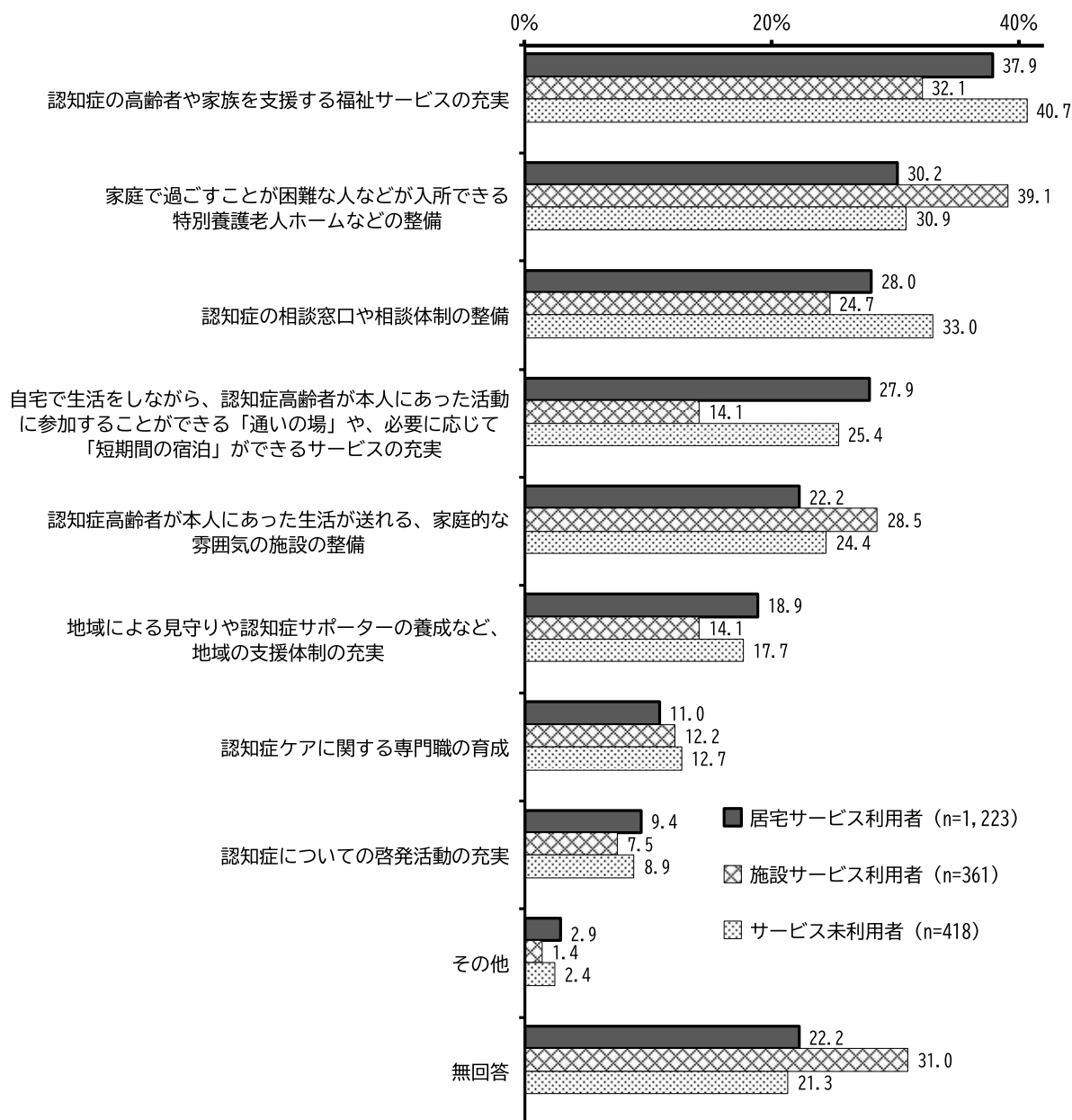
問 17 あなたは認知症について、どのようなことを知っていますか。(いくつでも○)

- ・ 居宅サービス利用者では、「認知症は、脳の病気を原因疾患とし、誰にでも起こりうるものであること」(74.7%)が最も多く、次いで「認知症の症状には、記憶障害や時間・場所が分からなくなるなど共通の症状と、妄想、幻覚、徘徊など個人差のある症状があること」(68.8%)、「認知症は高齢期だけでなく、若い世代でも発症する若年性認知症があること」(64.6%)、「認知症は早期に発見することにより、進行を遅らせることができること」(59.9%)と続いている。一方、「どれも知らなかった」は6.0%となっている。
- ・ 施設サービス利用者では、「認知症は、脳の病気を原因疾患とし、誰にでも起こりうるものであること」(70.1%)が最も多く、次いで「認知症の症状には、記憶障害や時間・場所が分からなくなるなど共通の症状と、妄想、幻覚、徘徊など個人差のある症状があること」(61.5%)、「認知症は高齢期だけでなく、若い世代でも発症する若年性認知症があること」(54.6%)、「認知症は早期に発見することにより、進行を遅らせることができること」(50.4%)と続いている。一方、「どれも知らなかった」は6.4%となっている。
- ・ サービス未利用者では、「認知症は、脳の病気を原因疾患とし、誰にでも起こりうるものであること」(75.8%)が最も多く、次いで「認知症の症状には、記憶障害や時間・場所が分からなくなるなど共通の症状と、妄想、幻覚、徘徊など個人差のある症状があること」(69.1%)、「認知症は高齢期だけでなく、若い世代でも発症する若年性認知症があること」(66.0%)、「認知症は早期に発見することにより、進行を遅らせることができること」(60.3%)と続いている。一方、「どれも知らなかった」は4.5%となっている。



問 18 あなたは、認知症になっても、住み慣れた地域で生活を送るためには何が必要だと考えますか。(3 つまでに○)

- ・ 居宅サービス利用者では、「認知症の高齢者や家族を支援する福祉サービスの充実」(37.9%)が最も多く、次いで「家庭で過ごすことが困難な人などが入所できる特別養護老人ホームなどの整備」(30.2%)、「認知症の相談窓口や相談体制の整備」(28.0%)、「自宅で生活をしながら、認知症高齢者が本人にあった活動に参加することができる「通いの場」や、必要に応じて「短期間の宿泊」ができるサービスの充実」(27.9%)と続いている。
- ・ 施設サービス利用者では、「家庭で過ごすことが困難な人などが入所できる特別養護老人ホームなどの整備」(39.1%)が最も多く、次いで「認知症の高齢者や家族を支援する福祉サービスの充実」(32.1%)、「認知症高齢者が本人にあった生活を送れる、家庭的な雰囲気施設の整備」(28.5%)、「認知症の相談窓口や相談体制の整備」(24.7%)と続いている。
- ・ サービス未利用者では、「認知症の高齢者や家族を支援する福祉サービスの充実」(40.7%)が最も多く、次いで「認知症の相談窓口や相談体制の整備」(33.0%)、「家庭で過ごすことが困難な人などが入所できる特別養護老人ホームなどの整備」(30.9%)と続いている。

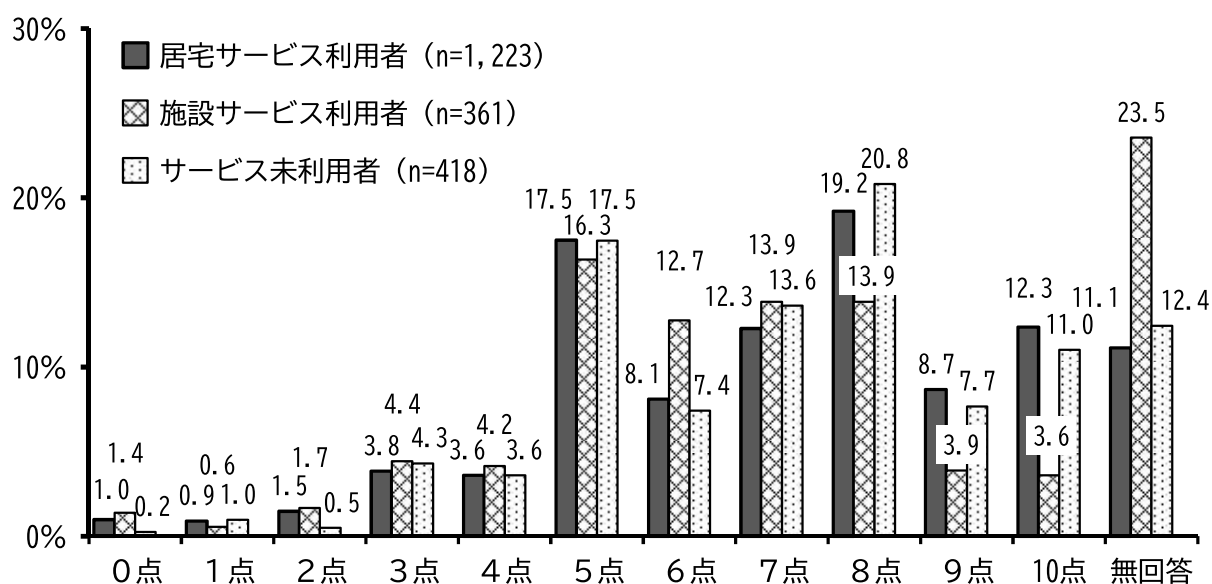


(8) 地域生活と日ごろの活動について

問 19 あなたは、現在どの程度幸福だと感じていますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とした場合、あなたはどれくらいになると思いますか。最も近いものをお選びください。

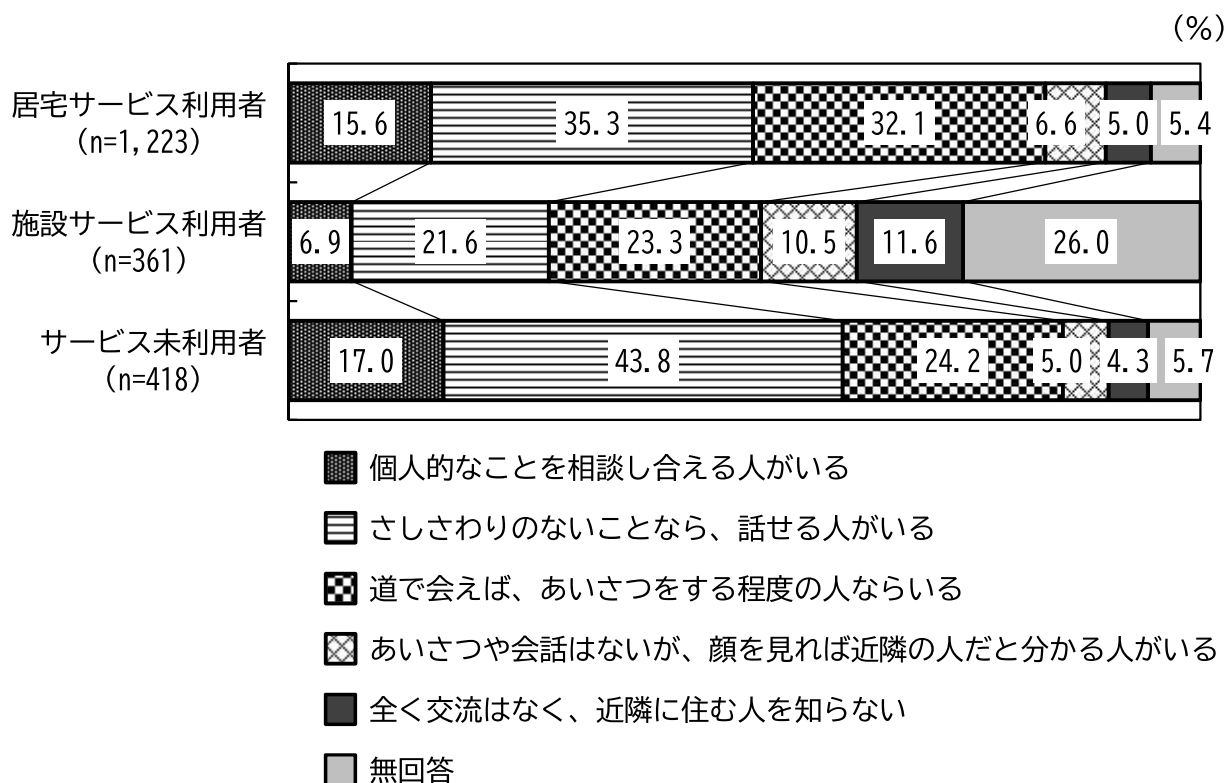
(1つに○)

- ・居宅サービス利用者では、「8点」(19.2%)が最も多く、次いで「5点」(17.5%)、「10点」(12.3%)、「7点」(12.3%)と続いている。
- ・施設サービス利用者では、「5点」(16.3%)が最も多く、次いで「7点」(13.9%)、「8点」(13.9%)、「6点」(12.7%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「8点」(20.8%)が最も多く、次いで「5点」(17.5%)、「7点」(13.6%)、「10点」(11.1%)と続いている。



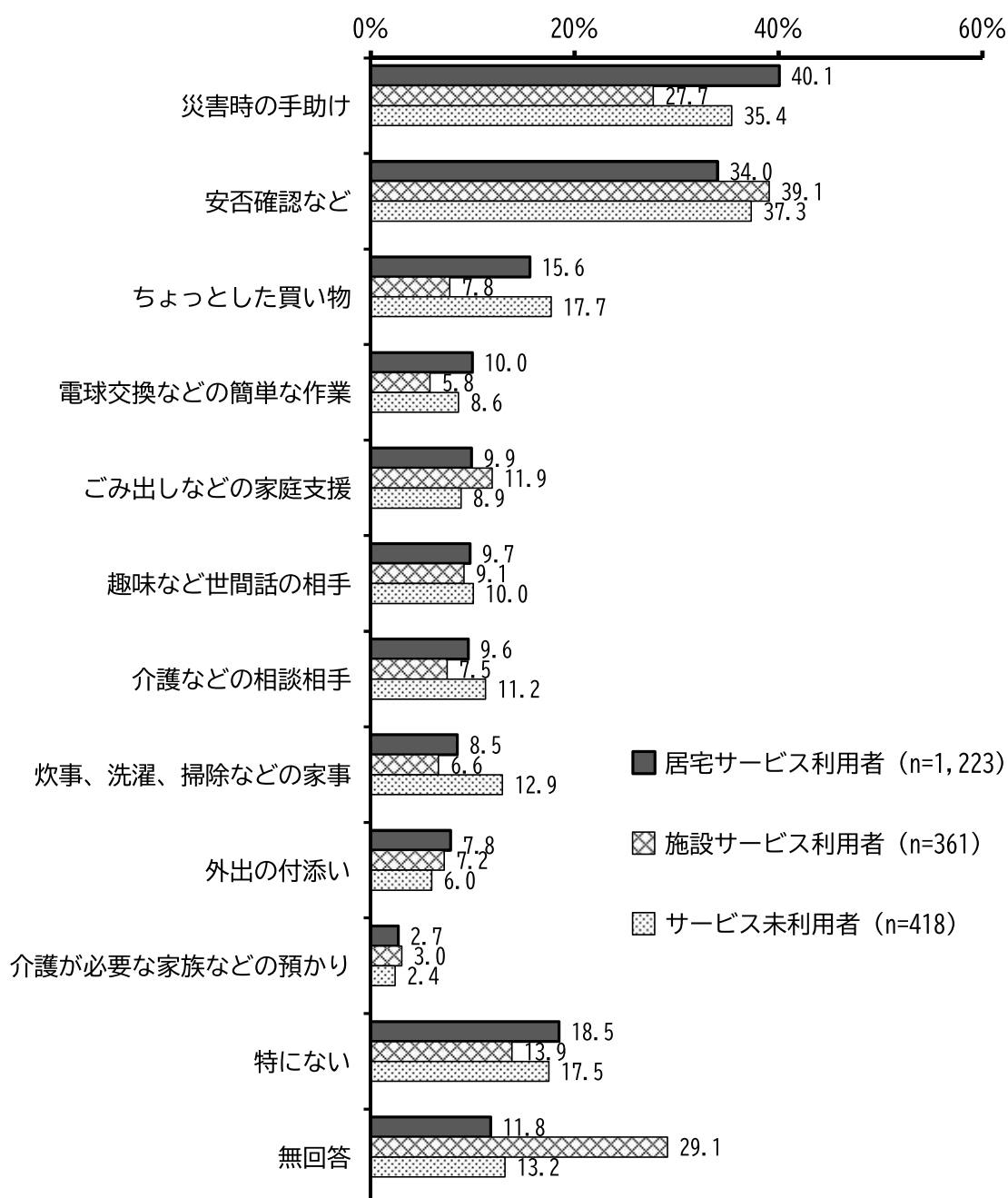
問 20 あなたは、近隣に住む人と、どの程度おつきあいしていますか。(1つに○)

- ・居宅サービス利用者では、「さしさわりのないことなら、話せる人がいる」(35.3%)が最も多く、次いで「道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる」(32.1%)、「個人的なことを相談し合える人がいる」(15.6%)と続いている。
- ・施設サービス利用者では、「道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる」(23.3%)が最も多く、次いで「さしさわりのないことなら、話せる人がいる」(21.6%)、「全く交流はなく、近隣に住む人を知らない」(11.6%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「さしさわりのないことなら、話せる人がいる」(43.8%)が最も多く、次いで「道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる」(24.2%)、「個人的なことを相談し合える人がいる」(17.0%)と続いている。



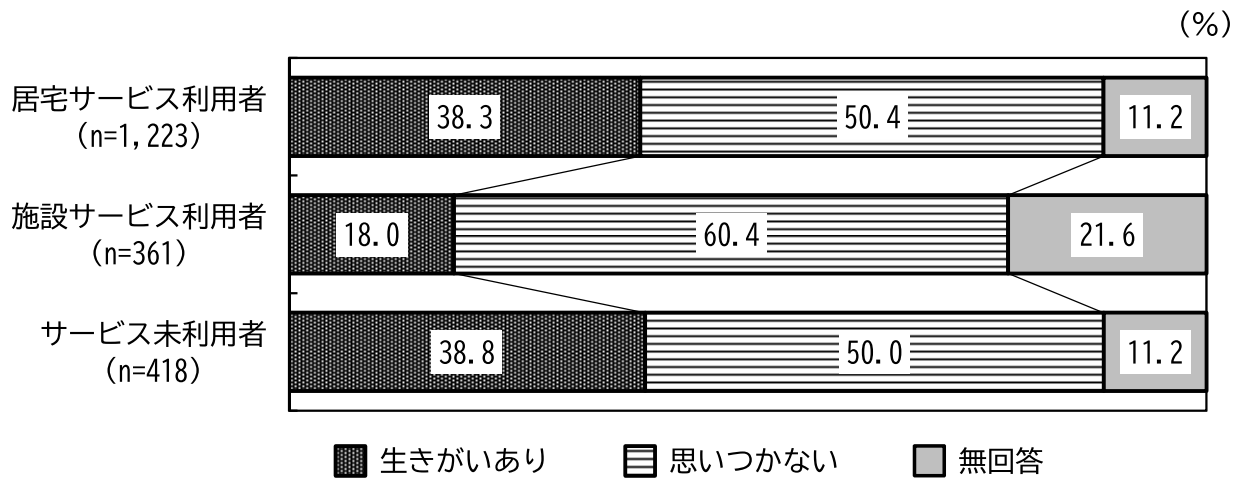
問 21 あなたが、高齢や病気などで日常生活が不自由になったとき、隣近所の人に手助けしてもらったらどんなことをしてほしいですか。（3つまでに○）

- ・居宅サービス利用者では、「災害時の手助け」(40.1%)が最も多く、次いで「安否確認など」(34.0%)、「ちょっとした買い物」(15.6%)、「電球交換などの簡単な作業」(10.0%)、「ごみ出しなどの家庭支援」(9.9%)と続いている。一方、「特にない」は18.5%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「安否確認など」(39.1%)が最も多く、次いで「災害時の手助け」(27.7%)、「ごみ出しなどの家庭支援」(11.9%)、「趣味など世間話の相手」(9.1%)と続いている。一方、「特にない」は13.9%となっている。
- ・サービス未利用者では、「安否確認など」(37.3%)が最も多く、次いで「災害時の手助け」(35.4%)、「ちょっとした買い物」(17.7%)、「炊事、洗濯、掃除などの家事」(12.9%)、「介護などの相談相手」(11.2%)と続いている。一方、「特にない」は17.5%となっている。



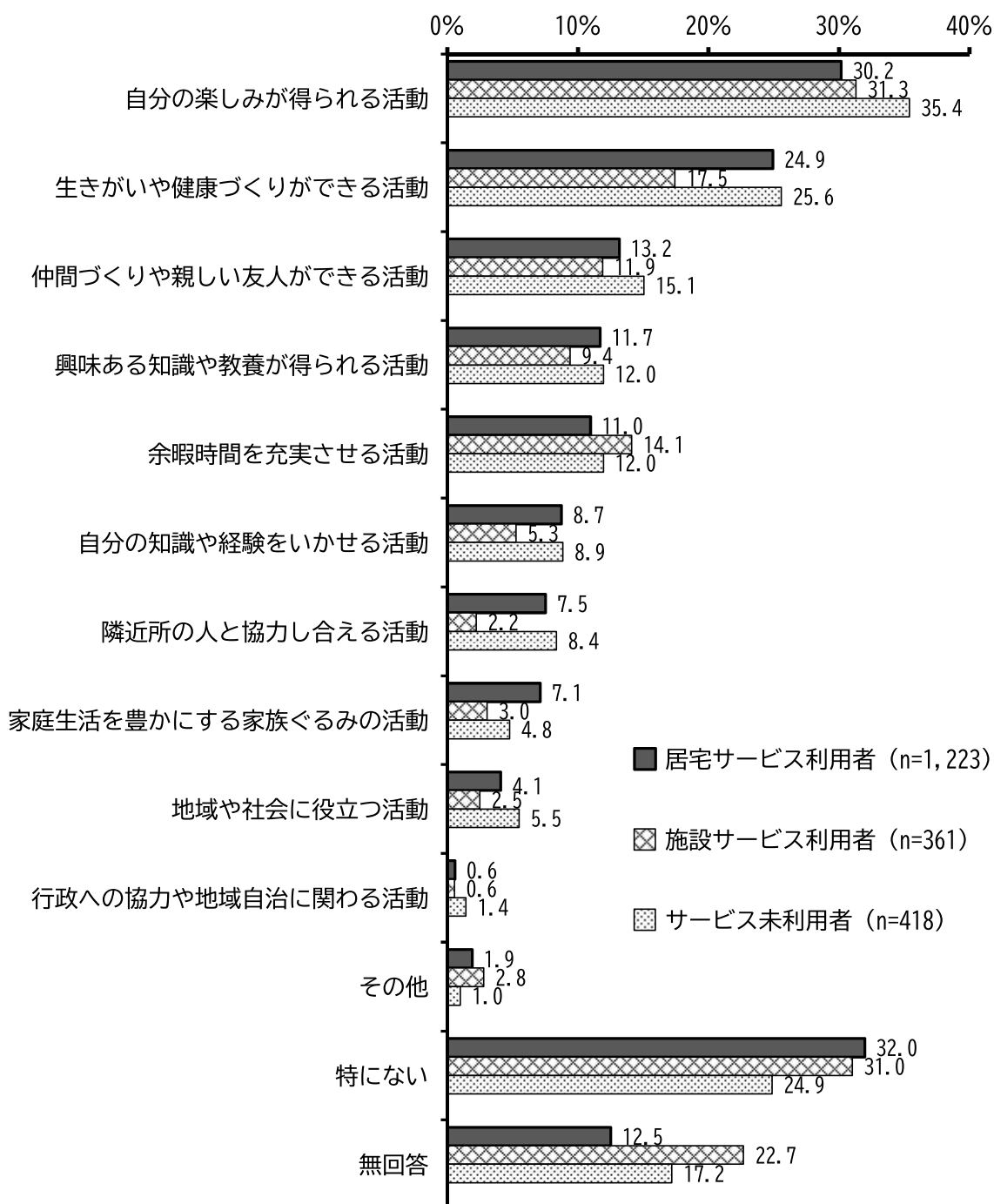
問 22 生きがいがありますか。(1つに○)

- ・「生きがいあり」の割合は、居宅サービス利用者では38.3%、施設サービス利用者では18.0%、サービス未利用者では38.8%となっている。



問 23 あなたが、これから参加したい活動はどのようなものですか。（3つまでに○）

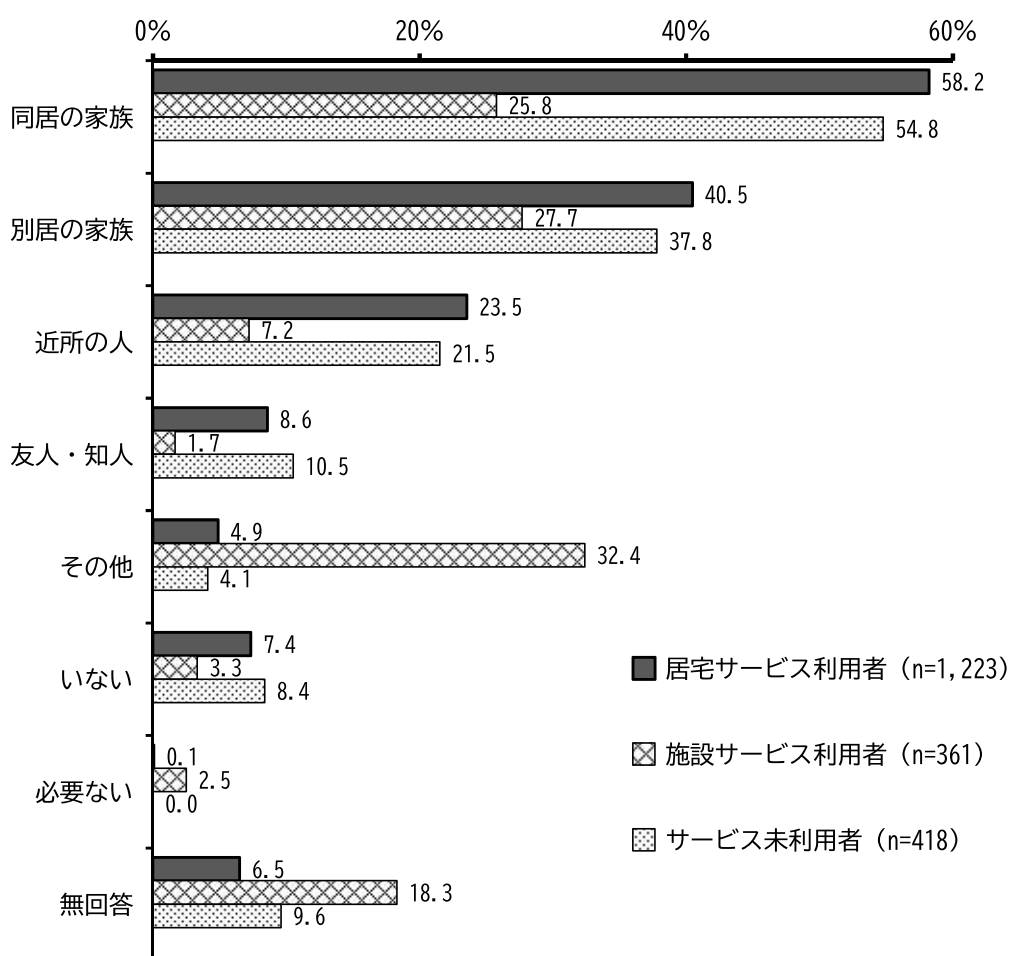
- ・居宅サービス利用者では、「自分の楽しみが得られる活動」(30.2%)が最も多く、次いで「生きがいや健康づくりができる活動」(24.9%)、「仲間づくりや親しい友人ができる活動」(13.2%)、「興味ある知識や教養が得られる活動」(11.7%)、「余暇時間を充実させる活動」(11.0%)と続いている。一方、「特にない」は32.0%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「自分の楽しみが得られる活動」(31.3%)が最も多く、次いで「生きがいや健康づくりができる活動」(17.5%)、「余暇時間を充実させる活動」(14.1%)、「仲間づくりや親しい友人ができる活動」(11.9%)と続いている。一方、「特にない」は31.0%となっている。
- ・サービス未利用者では、「自分の楽しみが得られる活動」(35.4%)が最も多く、次いで「生きがいや健康づくりができる活動」(25.6%)、「仲間づくりや親しい友人ができる活動」(15.1%)と続いている。一方、「特にない」は24.9%となっている。



(9) 災害時の対応について

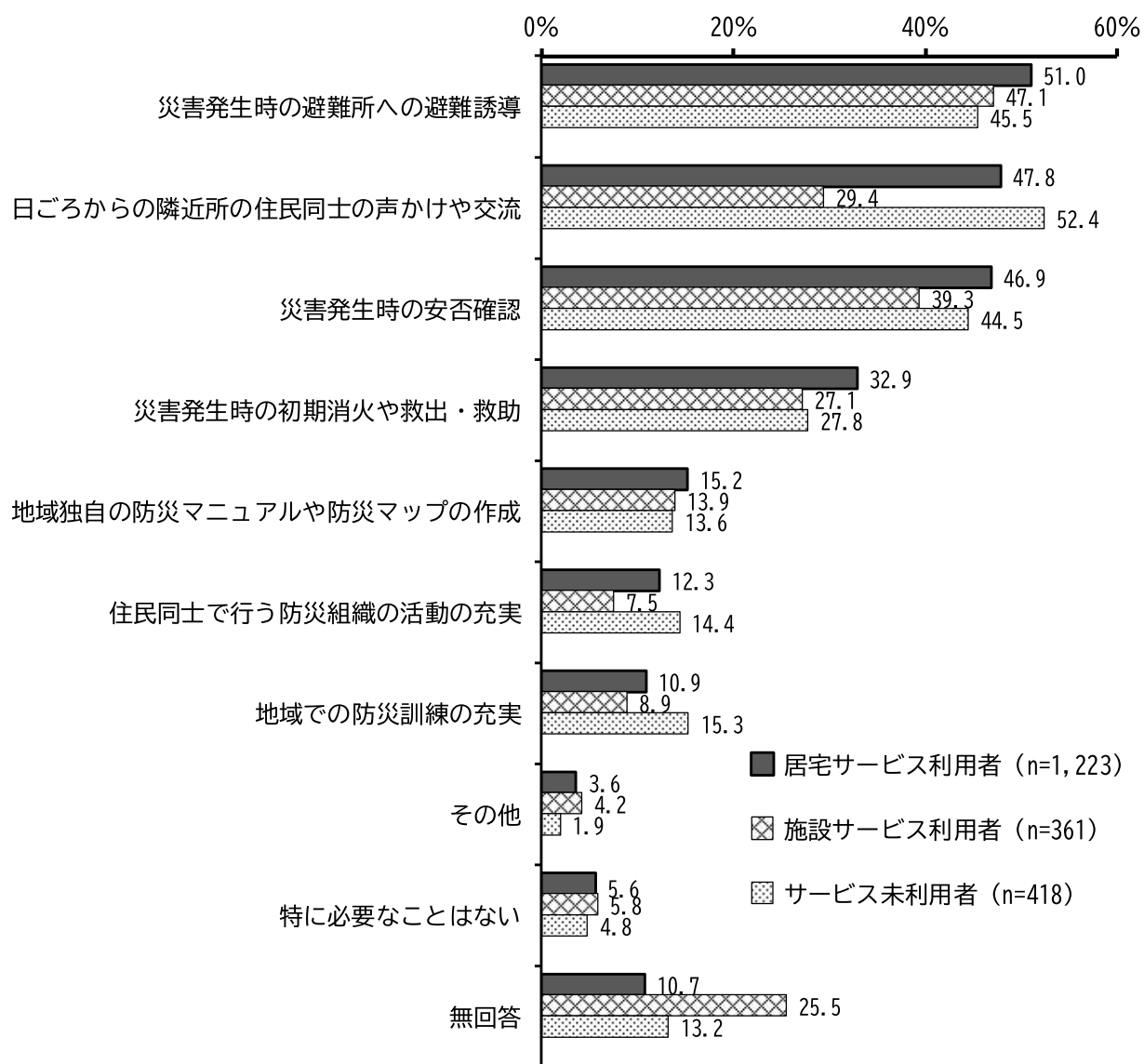
問 24 地震等の災害が起こったときにあなたの手助けをしてくれる人はいますか。(いくつでも○)

- ・居宅サービス利用者では、「同居の家族」(58.2%)が最も多く、次いで「別居の家族」(40.5%)、「近所の人」(23.5%)、「友人・知人」(8.6%)と続いている。一方、「いない」は7.4%、「必要ない」は0.1%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「別居の家族」(27.7%)が最も多く、次いで「同居の家族」(25.8%)、「近所の人」(7.2%)と続いている。一方、「いない」は3.3%、「必要ない」は2.5%となっている。
- ・サービス未利用者では、「同居の家族」(54.8%)が最も多く、次いで「別居の家族」(37.8%)、「近所の人」(21.5%)、「友人・知人」(10.5%)と続いている。一方、「いない」は8.4%、「必要ない」は0.0%となっている。



問 25 災害に備えて、又は災害が発生したときに、あなたに対してどのような手助けがあれば安心できると思いますか。(いくつでも○)

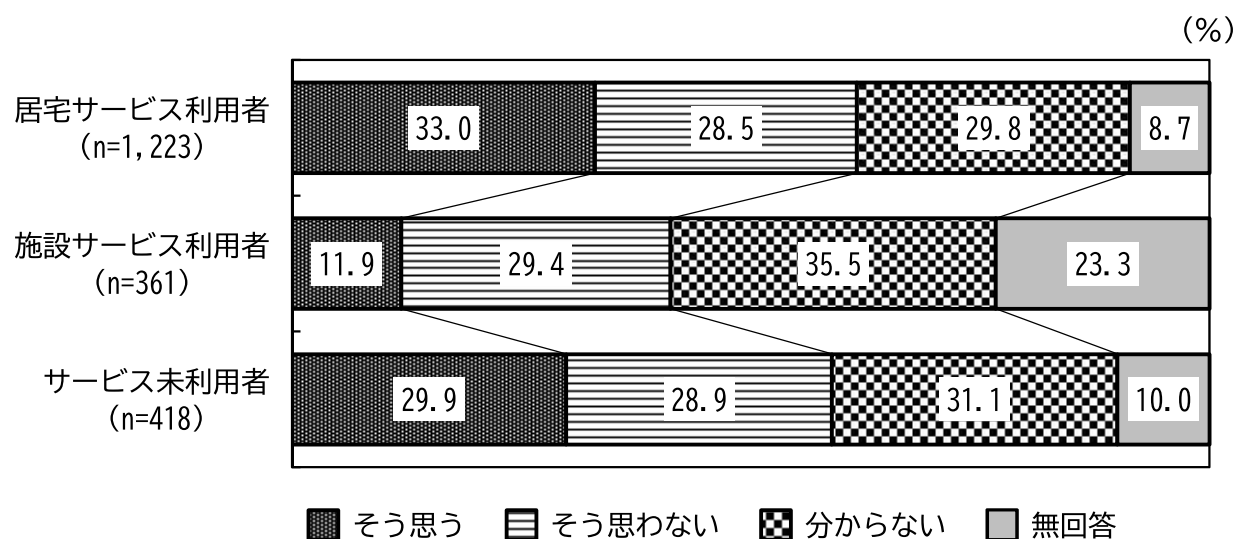
- ・ 居宅サービス利用者では、「災害発生時の避難所への避難誘導」(51.0%)が最も多く、次いで「日ごろからの隣近所の住民同士の声かけや交流」(47.8%)、「災害発生時の安否確認」(46.9%)、「災害発生時の初期消火や救出・救助」(32.9%)と続いている。一方、「特に必要なことはない」は5.6%となっている。
- ・ 施設サービス利用者では、「災害発生時の避難所への避難誘導」(47.1%)が最も多く、次いで「災害発生時の安否確認」(39.3%)、「日ごろからの隣近所の住民同士の声かけや交流」(29.4%)、「災害発生時の初期消火や救出・救助」(27.1%)と続いている。一方、「特に必要なことはない」は5.8%となっている。
- ・ サービス未利用者では、「日ごろからの隣近所の住民同士の声かけや交流」(52.4%)が最も多く、次いで「災害発生時の避難所への避難誘導」(45.5%)、「災害発生時の安否確認」(44.5%)、「災害発生時の初期消火や救出・救助」(27.8%)と続いている。一方、「特に必要なことはない」は4.8%となっている。



(10) 在宅療養について

問 26 脳卒中の後遺症や末期がんなどで長期の療養が必要になった場合、あなたは、自宅で療養を続けたいと思いますか。(1つに○)

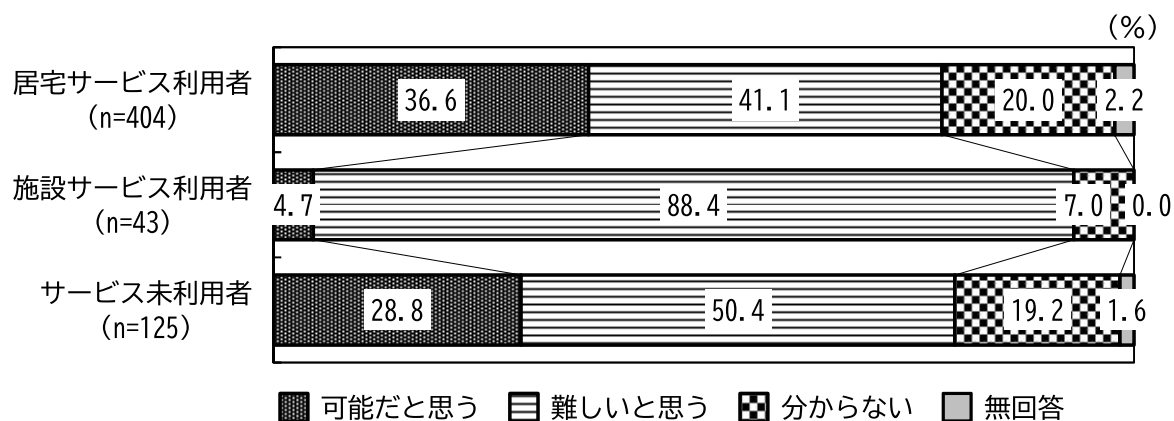
- ・居宅サービス利用者では、「そう思う」が 33.0%、「そう思わない」が 28.5%、「分からない」が 29.8%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「そう思う」が 11.9%、「そう思わない」が 29.4%、「分からない」が 35.5%となっている。
- ・サービス未利用者では、「そう思う」が 29.9%、「そう思わない」が 28.9%、「分からない」が 31.1%となっている。



«問 26 で「1. そう思う」とお答えの方におたずねします»

問 26-1 ご自宅での療養は可能だと思いますか。(1つに○)

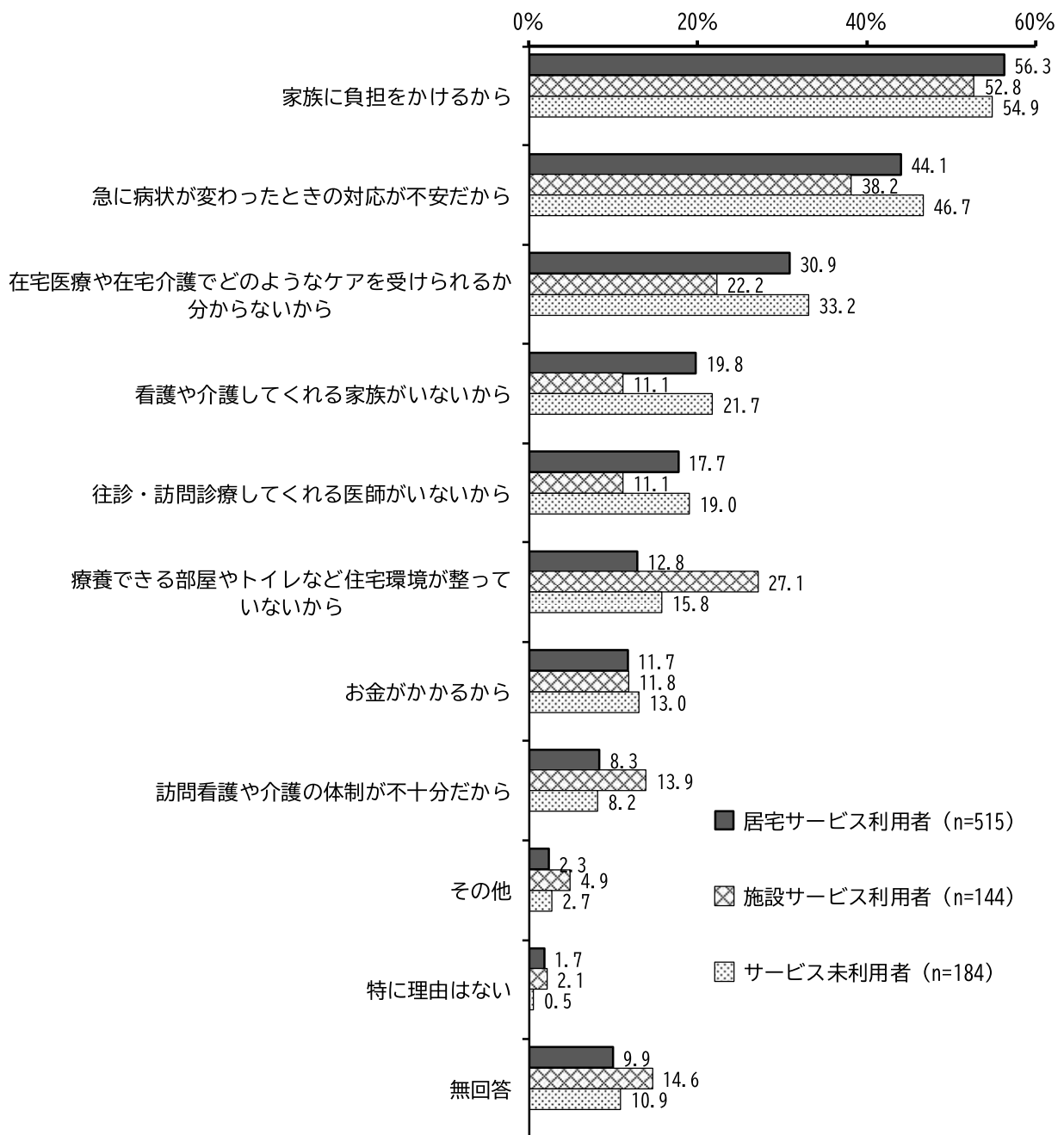
- ・居宅サービス利用者では、「可能だと思う」が 36.6%、「難しいと思う」が 41.1%、「分からない」が 20.0%となっている。
- ・施設サービス利用者では、「可能だと思う」が 4.7%、「難しいと思う」が 88.4%、「分からない」が 7.0%となっている。
- ・サービス未利用者では、「可能だと思う」が 28.8%、「難しいと思う」が 50.4%、「分からない」が 19.2%となっている。



「問 26 で「2. そう思わない」 又は 問 26-1 で「2. 難しいと思う」とお答えの方におたずねします」

問 26-2 それなぜですか。(3つまでに○)

- ・ 居宅サービス利用者では、「家族に負担をかけるから」(56.3%)が最も多く、次いで「急に病状が変わったときの対応が不安だから」(44.1%)、「在宅医療や在宅介護でどのようなケアを受けられるかわからないから」(30.9%)と続いている。一方、「特に理由はない」は1.7%となっている。
- ・ 施設サービス利用者では、「家族に負担をかけるから」(52.8%)が最も多く、次いで「急に病状が変わったときの対応が不安だから」(38.2%)、「療養できる部屋やトイレなど住宅環境が整っていないから」(27.1%)と続いている。一方、「特に理由はない」は2.1%となっている。
- ・ サービス未利用者では、「家族に負担をかけるから」(54.9%)が最も多く、次いで「急に病状が変わったときの対応が不安だから」(46.7%)、「在宅医療や在宅介護でどのようなケアを受けられるかわからないから」(33.2%)と続いている。一方、「特に理由はない」は0.5%となっている。



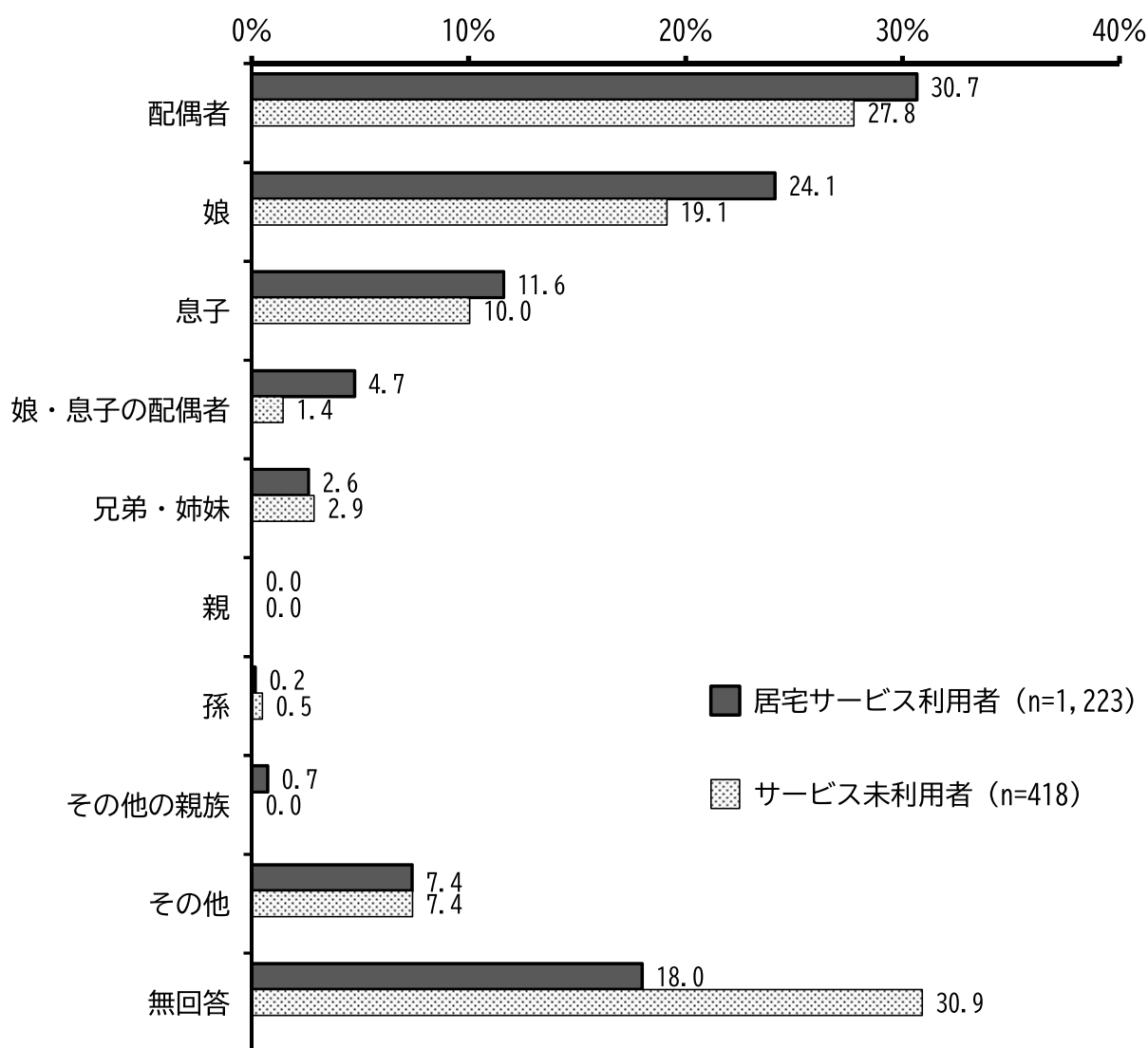
問 27 市の高齢者保健福祉サービスや介護保険制度について、ご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

集計中

(11) 主な介護者の状況や意向について

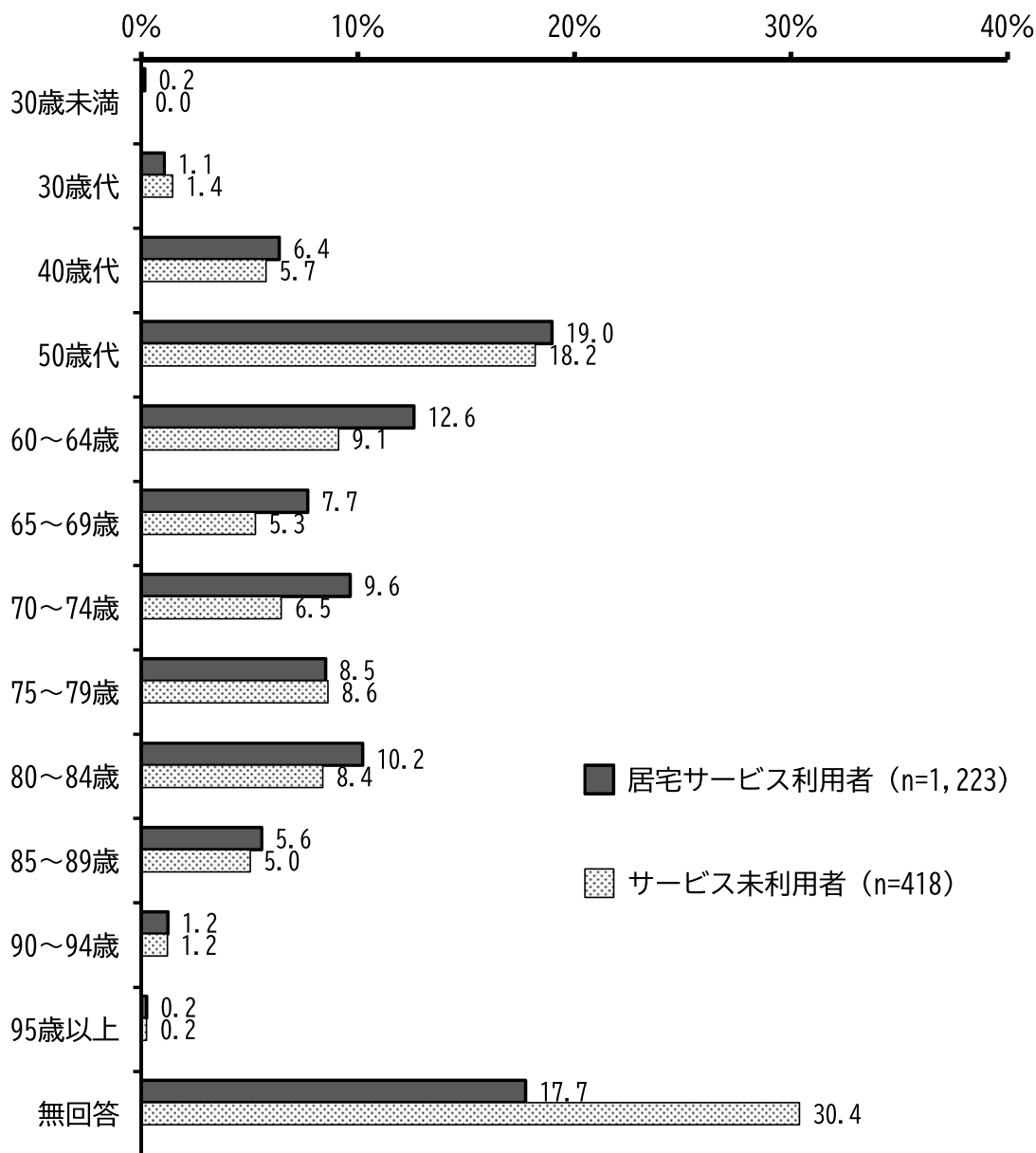
問 28 あて名のご本人を主に介護しているのは、どなたですか。（1つに○）

- ・居宅サービス利用者では、「配偶者」(30.7%)が最も多く、次いで「娘」(24.1%)、「息子」(11.6%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「配偶者」(27.8%)が最も多く、次いで「娘」(19.1%)、「息子」(10.0%)と続いている。



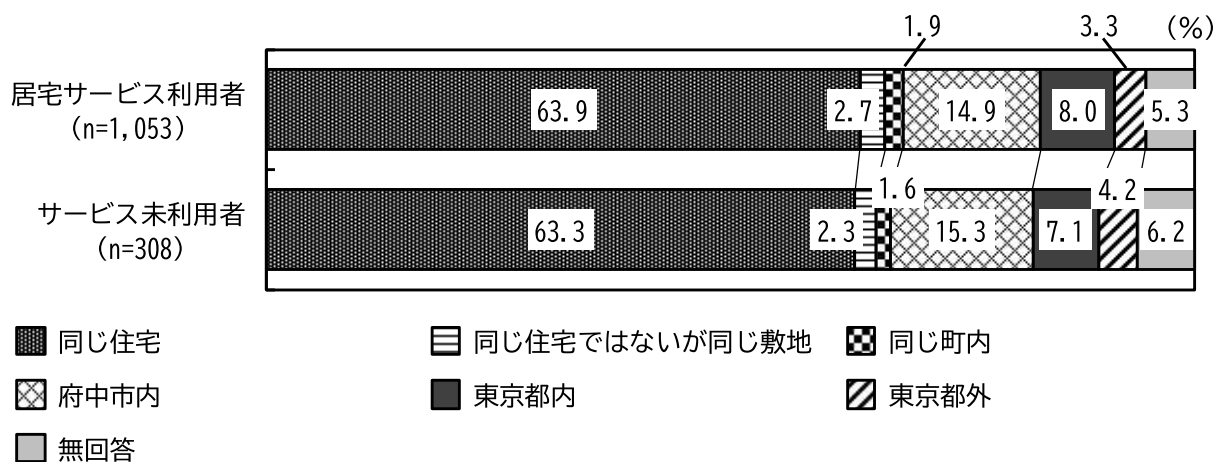
問 29 あて名のご本人を主に介護している方の年齢はおいくつですか。（1つに○）

- ・ 居宅サービス利用者では、「50 歳代」(19.0%)が最も多く、次いで「60～64 歳」(12.6%)、「80～84 歳」(10.2%)、「70～74 歳」(9.6%)、「75～79 歳」(8.5%)と続いている。
- ・ サービス未利用者では、「50 歳代」(18.2%)が最も多く、次いで「60～64 歳」(9.1%)、「75～79 歳」(8.6%)、「80～84 歳」(8.4%)、「70～74 歳」(6.5%)と続いている。



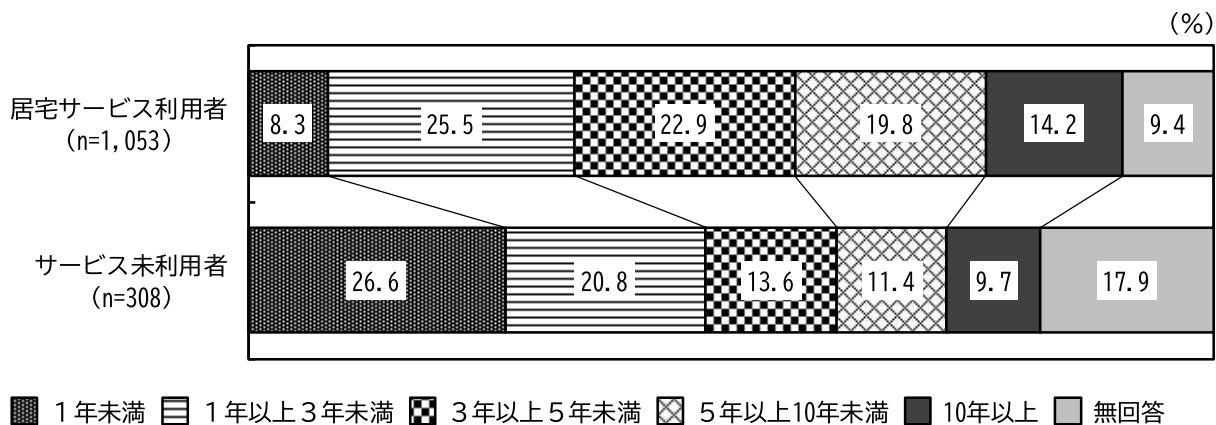
問 30 あて名のご本人を主に介護している方はどこに住んでいますか。(1つに○)

- ・居宅サービス利用者では、「同じ住宅」(63.9%)が最も多く、次いで「府中市内」(14.9%)、「東京都内」(8.0%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「同じ住宅」(63.3%)が最も多く、次いで「府中市内」(15.3%)、「東京都内」(7.1%)と続いている。



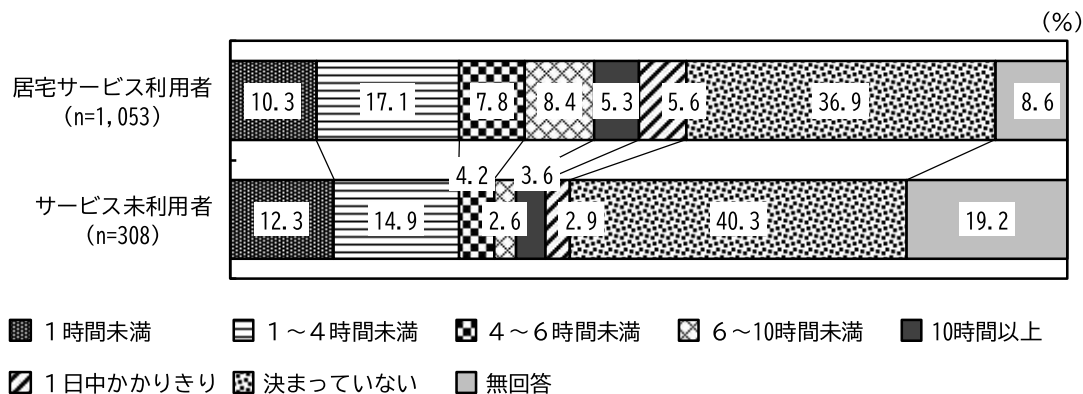
問 31 あて名のご本人を介護している期間はどのくらいですか。(1つに○)

- ・居宅サービス利用者では、「1年以上3年未満」(25.5%)が最も多く、次いで「3年以上5年未満」(22.9%)、「5年以上10年未満」(19.8%)、「10年以上」(14.2%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「1年未満」(26.6%)が最も多く、次いで「1年以上3年未満」(20.8%)、「3年以上5年未満」(13.6%)、「5年以上10年未満」(11.4%)と続いている。



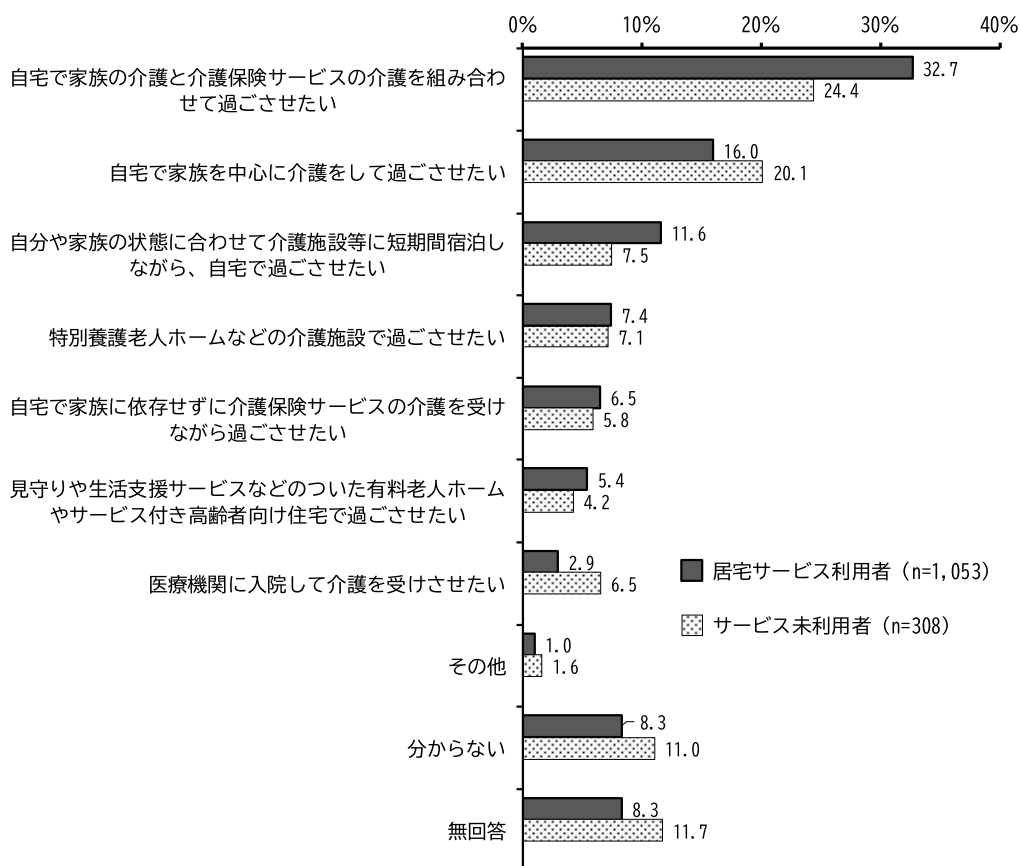
問 32 あて名のご本人の介護に1日に平均してどのくらい関わっていますか。(1つに○)

- ・居宅サービス利用者では、「決まっていない」(36.9%)が最も多く、次いで、「1～4時間未満」(17.1%)、「1時間未満」(10.3%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「決まっていない」(40.3%)が最も多く、次いで「1～4時間未満」(14.9%)、「1時間未満」(12.3%)と続いている。



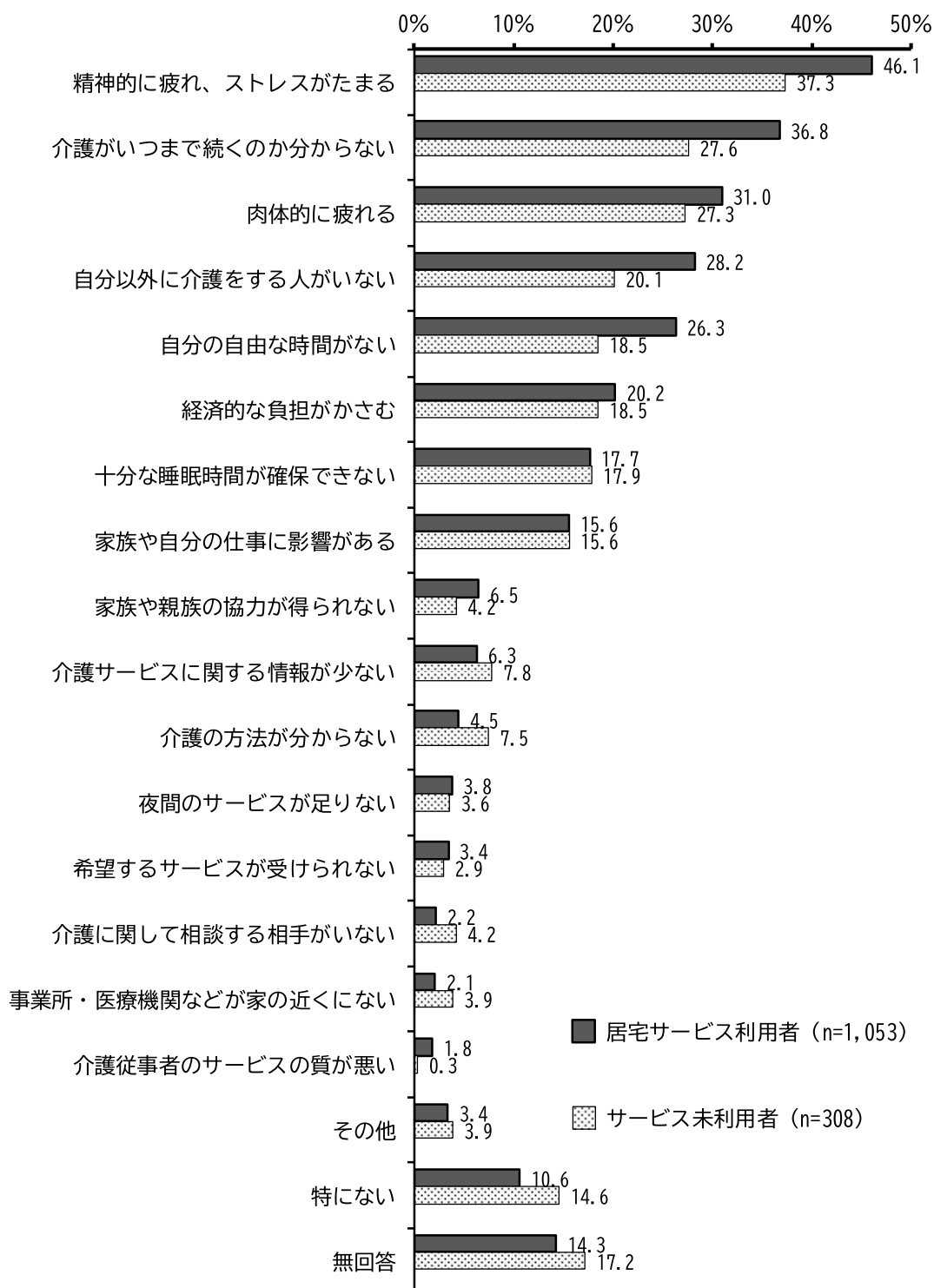
問 33 今後、あて名のご本人がどこで生活するのが良いと考えていますか。(1つに○)

- ・居宅サービス利用者では、「自宅で家族の介護と介護保険サービスの介護を組み合わせさせて過ごさせたい」(32.7%)が最も多く、次いで「自宅で家族を中心に介護をして過ごさせたい」(16.0%)、「自分や家族の状態に合わせて介護施設等に短期間宿泊しながら、自宅で過ごさせたい」(11.6%)と続いている。一方、「分からない」は8.3%となっている。
- ・サービス未利用者では、「自宅で家族の介護と介護保険サービスの介護を組み合わせさせて過ごさせたい」(24.4%)が最も多く、次いで「自宅で家族を中心に介護をして過ごさせたい」(20.1%)と続いている。一方、「分からない」は11.0%となっている。



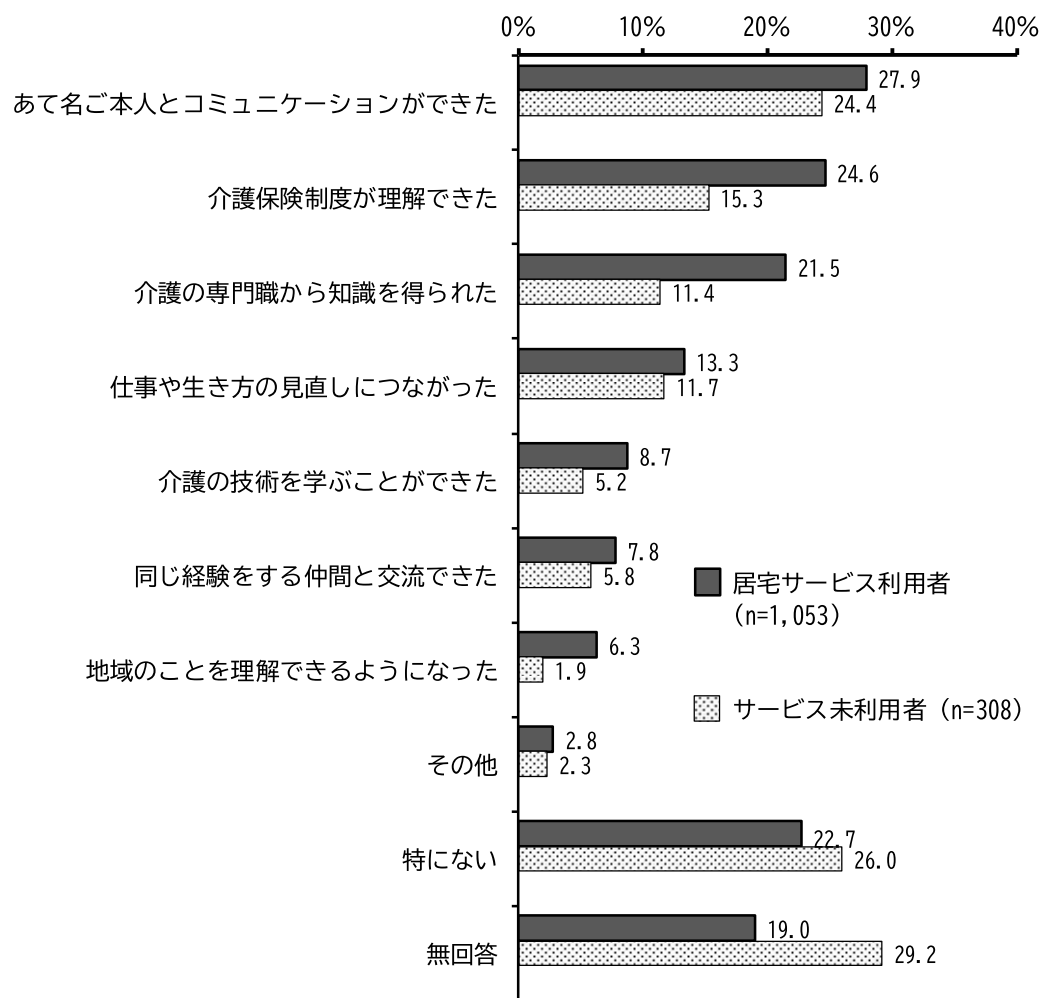
問 34 介護をしていくうえで、どのようなことに問題がありますか。(いくつでも○)

- ・居宅サービス利用者では、「精神的に疲れ、ストレスがたまる」(46.1%)が最も多く、次いで「介護がいつまで続くのか分からない」(36.8%)、「肉体的に疲れる」(31.0%)、「自分以外に介護をする人がいない」(28.2%)、「自分の自由な時間がない」(26.3%)と続いている。一方、「特にない」は10.6%となっている。
- ・サービス未利用者では、「精神的に疲れ、ストレスがたまる」(37.3%)が最も多く、次いで「介護がいつまで続くのか分からない」(27.6%)、「肉体的に疲れる」(27.3%)、「自分以外に介護をする人がいない」(20.1%)、「自分の自由な時間がない」と「経済的な負担がかさむ」(18.5%)と続いている。一方、「特にない」は14.6%となっている。



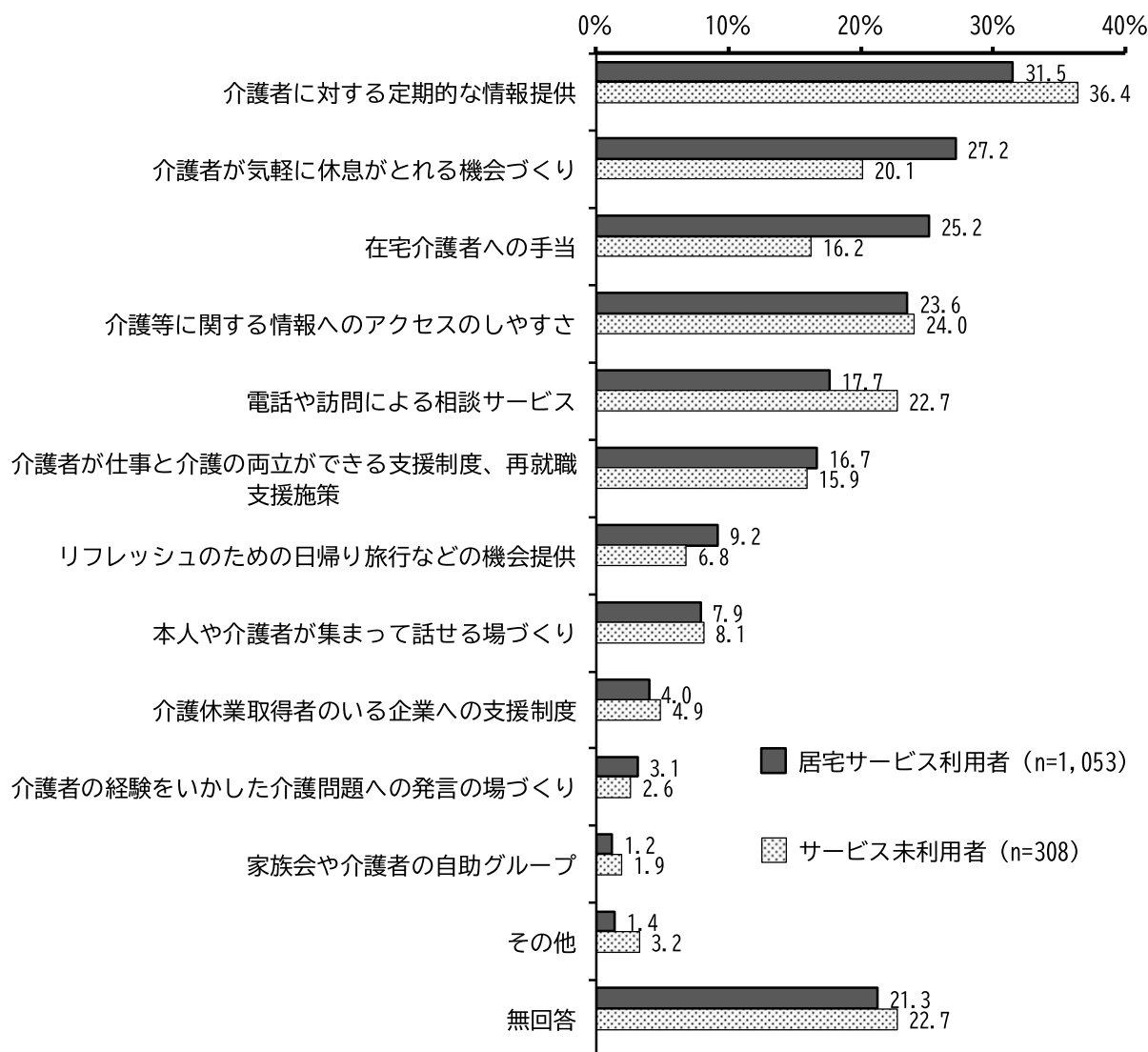
問 35 介護をしていて良かったと思うことはどのようなことですか。(いくつでも○)

- ・居宅サービス利用者では、「あて名ご本人とコミュニケーションができた」(27.9%)が最も多く、次いで「介護保険制度が理解できた」(24.6%)、「介護の専門職から知識を得られた」(21.5%)と続いている。一方、「特にない」は22.7%となっている。
- ・サービス未利用者では、「あて名ご本人とコミュニケーションができた」(24.4%)が最も多く、次いで「介護保険制度が理解できた」(15.3%)、「仕事や生き方の見直しにつながった」(11.7%)、「介護の専門職から知識を得られた」(11.4%)と続いている。一方、「特にない」は26.0%となっている。



問 36 介護者支援策として必要だと思うのはどれですか。（3つまでに○）

- ・居宅サービス利用者では、「介護者に対する定期的な情報提供」(31.5%)が最も多く、次いで「介護者が気軽に休息がとれる機会づくり」(27.2%)、「在宅介護者への手当」(25.2%)、「介護等に関する情報へのアクセスのしやすさ」(23.6%)と続いている。
- ・サービス未利用者では、「介護者に対する定期的な情報提供」(36.4%)が最も多く、次いで「介護等に関する情報へのアクセスのしやすさ」(24.0%)、「電話や訪問による相談サービス」(22.7%)、「介護者が気軽に休息がとれる機会づくり」(20.1%)と続いている。



問 37 介護者が感じている介護の問題、経済的負担、遠距離介護や呼び寄せ介護の問題、市へのご意見・ご要望等がございましたらご自由にお書きください。

※集計中